

Ultra-fast

Live Display

~ 30 smooth video streams (CIF)

Dual Screen

free camera definition on 2nd screen

approx. 90 cameras

Field-Tested

during World Cup at Kaiserslautern stadium

Floor Plans

Layout editor with indiv. floor plans

Alarm time or image

Alarm

Event list sorted by camera or by time

Search

Search possible even while recording

Event Search

Synchronized search on several cameras

Image improvement

Post-Processing

Zoom, contrast, distortion correction

Audio

Lip-synchronous audio bidirectional via IP

analog and digital

PTZ

Mouse or joystick control via network

Remote Alerting

Remote

with automatic switching of floor plans

Third-party

Cameras

Integration of analog & digital PTZ domes

MOBOTIX

取り扱い説明書

MxControlCenter

Free of Charge
Full version without limitations
www.mobotix.com/NxViewer

The screenshot displays the MxControlCenter software interface. At the top, there are several camera feeds showing different views of a street and an indoor area. Below the feeds is a search bar and a list of events. The event log table is as follows:

Time & Date	Sequence	Event(s)	Event(s)
14:01:41 Thu 16.11.2006	2	1	EC
14:02:11 Thu 16.11.2006	5	1	EC
14:10:49 Thu 16.11.2006	12	1	EC
14:26:44 Thu 16.11.2006	28	1	EC
14:27:10 Thu 16.11.2006	28	1	EC
14:27:57 Thu 16.11.2006	29	2	EC
14:28:06 Thu 16.11.2006	30	1	EC
14:33:52 Thu 16.11.2006	36	1	EC
14:34:49 Thu 16.11.2006	36	1	EC
14:39:42 Thu 16.11.2006	41	1	EC

Below the table is a video player showing a red car in a street scene. The interface includes various control buttons for search, zoom, and playback.

High-Performance Video Management

MOBOTIX JAPAN

www.kjfellow.com/mobotix/

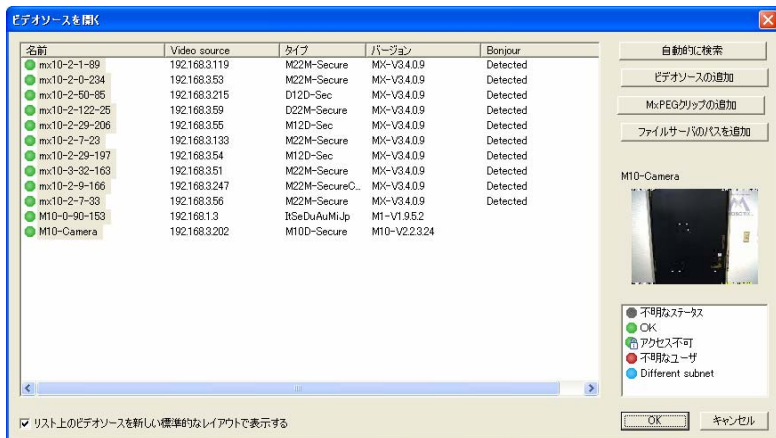
2008/03/25

• mobotix@kjfellow.com

1). ビデオソース	2
1.自動的に検索	2
2.ビデオソースの追加	2
3.MxPEG クリップの追加	2
4.ファイルサーバのパスを追加	3
2). ライブ画面の表示/設定方法	3
1. IPアドレスの入力	3
2. カメラの設定	3
3).メニューボタン	4
1. カメラステータス	4
2. アラームリスト	4
3. マイクとスピーカー	4
4. 接点信号出力	4
5. 画像拡大	5
6. シーケンススイッチャー(画像自動切替え)	5
7. カメラブラウザ	5
8. Activate Arming and Recording(動作待機と録画の設定)	5
9. Camera Configuration(カメラ設定)	6
10.アップデートアシスタント	6
11.ビデオソース	7
12.構成設定の保存	7
13.ローカルレコーダー	7
14.エクスポート(外部保存)	7
15.映像検索	7
16.レイアウト編集	7
4). マルチビュー/マップビューレイアウト	9
1. マルチビューの設定方法	9
2. マルチビューレイアウトのオリジナルの設定方法	12
3. マップビューの設定方法	14
エレメント設定	15
4. ソフトボタンの設定方法	19
5). 録画画像の表示/検索/再生/バックアップ保存	20
1.表示/検索	20
2.再生/巻き戻し/早送り	23
3.バックアップ保存	25
6). 設定	27
1. 全般	27
2. アラームリスト	30
3. リモートコントロール	31
4. カメラページ	32
5. MxControlCenter のアクセス制限	33

1). ビデオソース

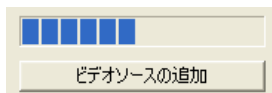
MxControlCenter で表示したいカメラ、MxPEG クリップ、画像保存ファイルサーバのパスを設定し、映像表示リストとして作成します。更に、左下の「選択したビデオソースを新しいレイアウトで表示する」にチェックマークを入れた場合、選択されたリストの映像を、自動的に新しいレイアウトで表示することができます。



1. 自動的に検索

自動的に検索

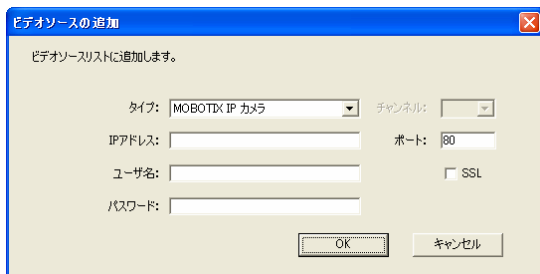
同じサブネット内にあるカメラを探し出して、自動表示させます。



2. ビデオソースの追加

ビデオソースの追加

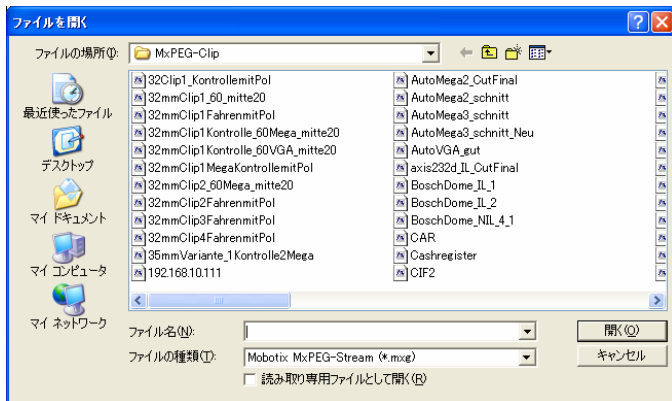
カメラタイプを選択し、IP アドレス、ポート番号、サブネット、(必要に応じてユーザ名とパスワード)を入力して、表示したいカメラを設定します。



3. MxPEG クリップの追加

MxPEGクリップの追加

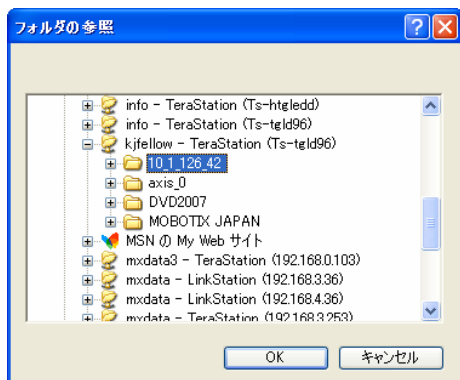
保存された MxPEG クリップを選択し、表示します。



4. ファイルサーバのパスを追加


ファイルサーバのパスを追加

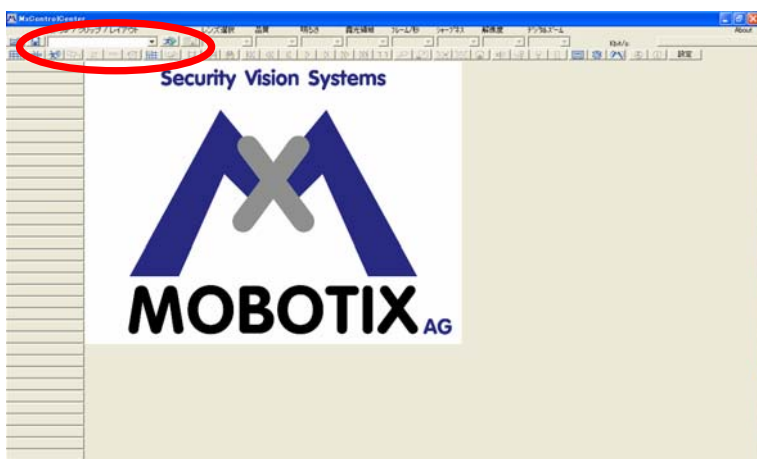
画像保存されているファイルサーバのパスを選択し、直接ファイルサーバから画像を引き出して表示することができます。ファイルサーバ・パスの指定には、共有フォルダの中の、カメラのシリアル番号が名前についたフォルダを指定します。



2). ライブ画面の表示/設定方法

1. IPアドレスの入力

左上の空欄にカメラのIPアドレスを入力し、をクリックします。



2. カメラの設定

カメラの設定を変更できます。



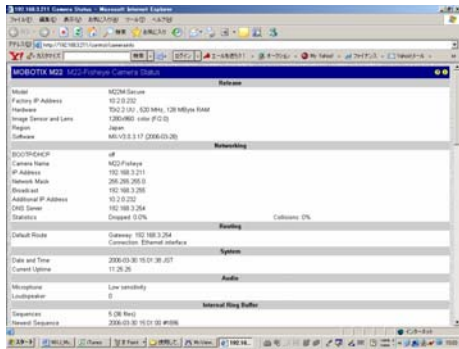
- ・ **レンズ選択** : カメラのレンズを選択できます。
- ・ **品質** : JPEG のクオリティを変更できます。
- ・ **明るさ** : 明るさを変更できます。
- ・ **露光領域** : 露光測定領域を選択できます。
- ・ **フレーム/秒** : フレームレートを変更できます。
- ・ **シャープネス** : シャープネスを変更できます。
- ・ **解像度** : 画像のサイズを変更できます。
- ・ **デジタルズーム** : デジタルズームの実効ができます。また、Center Pan でズーム画面を中央に戻し、Set View でズーム画面の位置を記憶させ、Load View で記憶させた位置に移動します。

3). メニューボタン




1. カメラステータス


カメラステータスのブラウザを表示します。





2. アラームリスト





設定 のアラームリストタブで、アラームリストを有効にすると、アラームリストが使えるようになります。メニューボタンの  をクリックすると、イベントが発生した場合にその時の画像がロール上に表示されます。ロールには、発生時間、カメラ名、発生から経過した時間が表示されています。

また、 をクリックすると、その瞬間の画像を任意でアラームリストに追加することができます。





 ...イベントの発生時間、カメラ名、発生から経過時間を表示

 ...画像を表示(タイトルにイベントの発生時間、カメラ名、発生から経過時間を表示)





 ...画像を拡大

 ...カメラが複数台ある場合、選択したカメラのイベントのみを表示







3. マイクとスピーカー


カメラのマイクがアクティブな場合、 をクリックすると黄色に変わり 、カメラのマイクで拾った音声を聞くことができます。さらに、メニューボタンの  をクリックをした状態に保つと、黄色に変わり 、PCのマイクで拾った音声をカメラのスピーカーへ送ることもできます。

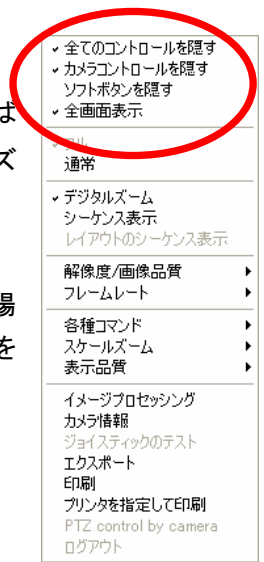
4. 接点信号出力

カメラから接点信号出力を行います。 をクリックすると黄色に変わり 、もう一度クリックするまで、シグナル出力をします。 は、一度クリックすると、 に変わり、2秒間接点信号出力をします。




5. 画像拡大


画像を拡大して表示します。を、一度クリックするとに切り替わり、画像は2倍に引き伸ばされます。更に連続してクリックすると、と切り替わります。は、カメラの画像サイズに表示し、は、画像表示部分に合わせて最大の大ききまで引き伸ばします。

また、をクリックすると、下記の図のように、モニターいっぱいに表示します。(元に戻す場合は、「Esc」キーを押すか、画像内右クリックで、「全てのコントロールを隠す」、「カメラコントロールを隠す」、「全画面表示」のチェックを外します。)



6. シーケンススイッチャー(画像自動切替え)

マルチ画面表示をしている場合、をクリックするとに切り替わり、カメラ画像の自動切替え(シーケンス)を実行できます。更新時間は、をクリックして開き、全般のタブの中の「シーケンスタイム」で設定します。または、カメラ個々のタブの中の「シーケンス時間」で、カメラ個々に設定していきます。

また、「Ctrl」キーを押しながら、をクリックするとレイアウトボタンに登録されたレイアウトを、設定された時間で自動切替えを行うことができます。

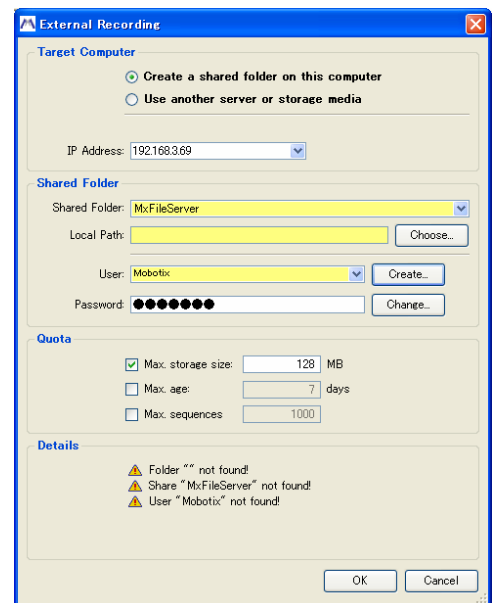
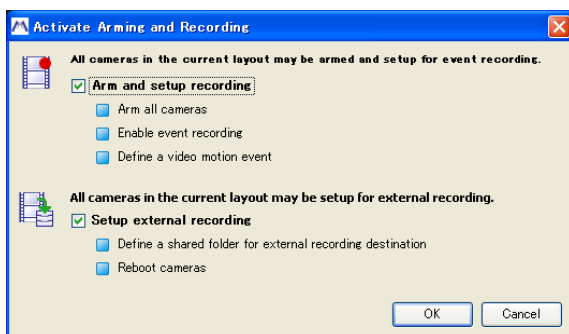


7. カメラブラウザ

カメラのブラウザを表示します。

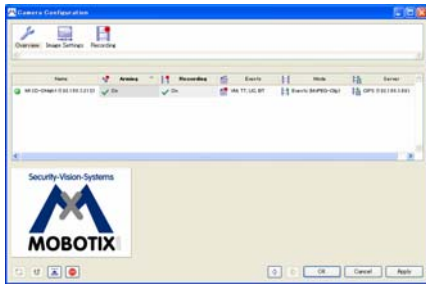
8. Activate Arming and Recording(動作待機と録画の設定)

カメラの動作待機と記録の設定を、カメラのブラウザを使用せずに、MxControlCenter で設定変更することが出来ます。更に、カメラの外部保存ファイルサーバとして、現在 MxControlCenter が起動している PC に共有フォルダを作成して保存するか、その他のストレージメディアを選択して外部保存の設定をおこなうことができます。

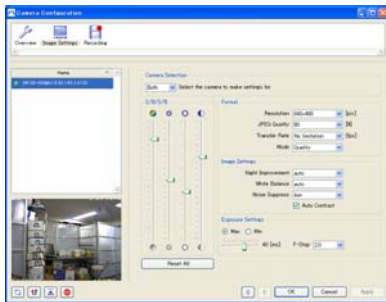


9. Camera Configuration (カメラ設定)

複数のカメラに対して、同時に設定変更できます。設定は、各カメラの画像設定と録画の設定がおこなえます。



a) 画像設定



Camera Selection :カメラの選定を設定できます。

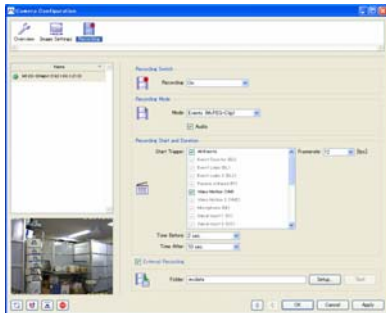
S/B/S/B : 彩度/明るさ/コントラスト/シャープネスの設定をができます。

Format : 解像度、クオリティ、フレームレート、表示モードを設定できます。

Image Settings : ナイト・インブループメント、ホワイト・バランス、ノイズ低減を設定できます。

Exposure Settings : 露光時間とF値を設定できます。

b) 録画設定



Recording Switch : 録画のオン/オフ、動作状況を設定できます。

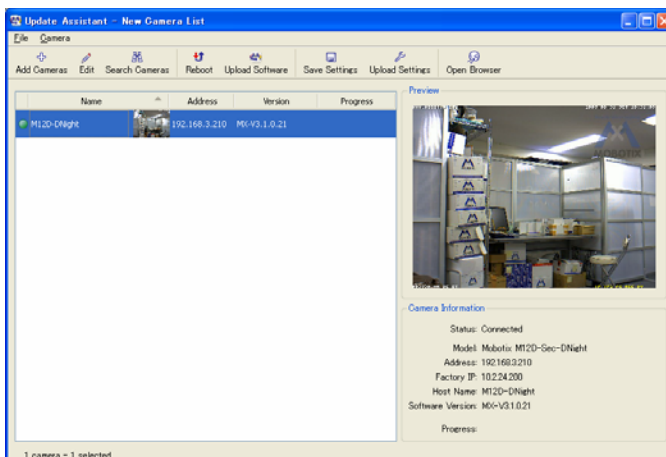
Recording Mode : 録画形式を、スナップショット記録/イベント記録/連続記録から選択できます。

Recording Start and Duration : 録画を開始及びフレームレートアップ時のイベントを選択でき、その録画時間を設定できます。

External Recording : 外部保存の設定ができます。

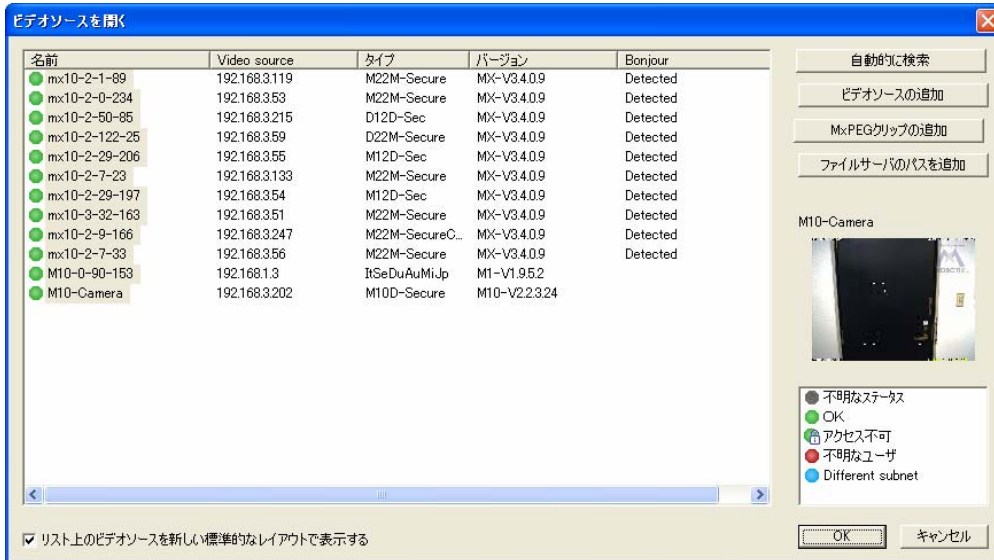
10. アップデートアシスタント

複数のカメラに対して、同時にカメラのソフトウェアアップデートがおこなえます。更に、カメラの設定ファイルも同時に保存可能です。



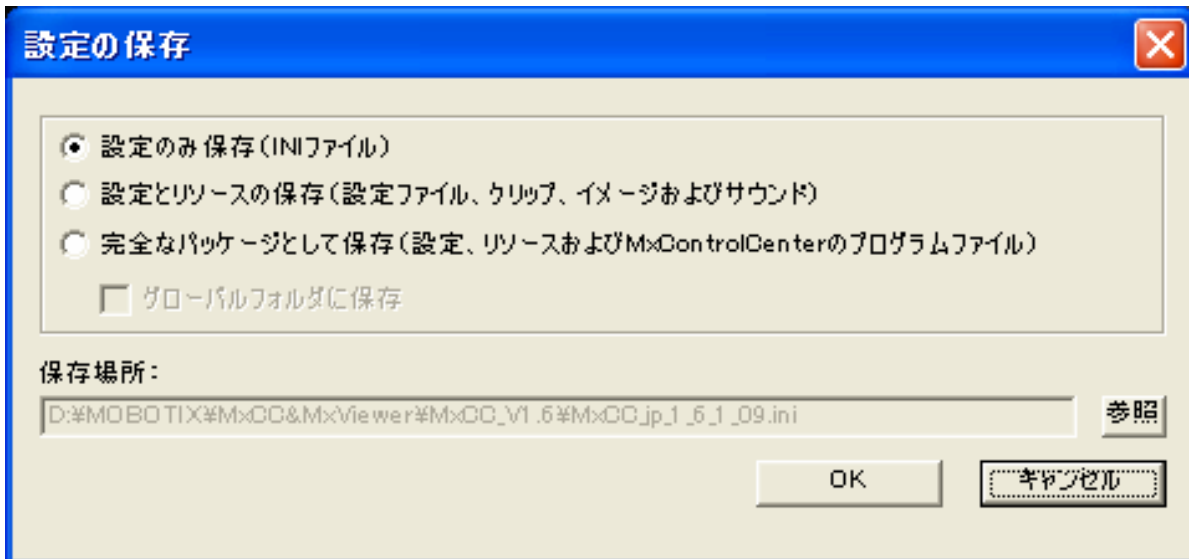
11. ビデオソース

ビデオソースを開き、表示したいカメラを追加できます。詳しくは、Pg2 1).ビデオソースを参照。




12. 構成設定の保存

MxControlCenter の構成設定を保存することができます。保存することにより、一度設定したレイアウトを起動時ごとに直ぐに表示すること可能になります。また、設定したファイルを完全パッケージで保存し、そのファイルを他の PC にコピーすることで、簡単に設定を移動させることもできます。

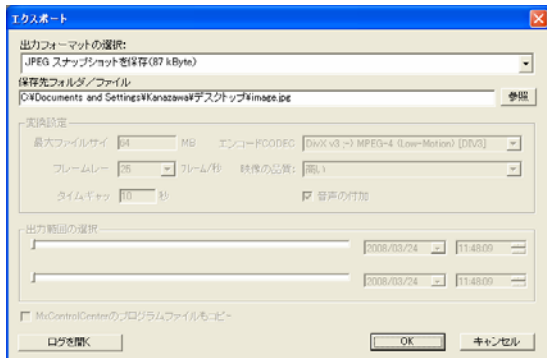


13. ローカルレコーダー

カメラの録画設定とは別に、ライブ画像を PC の RAM 上に録画し、その画像を表示します。 のカメラタブで個々に RAM 上に保存するサイズを設定することができます。

14. エクスポート(外部保存)

表示しているカメラの画像を、外部保存することができます。また、ファイルサーバの過去画像を表示している場合は、期間を指定してバックアップ保存することが可能です。



- **JPEG スナップショットを保存**
 - 選択したカメラがライブ画像を表示している場合に可能
 - ローカルライブレコーダーからエクスポートする場合に可能
- **静止画(ビットマップ)を保存**
 - 常に可能
- **MxPEG クリップとして保存**
 - ローカルライブレコーダーからエクスポートする場合に可能
- **JPEG 連続ファイルとして保存**
 - ローカルライブレコーダーからエクスポートする場合に可能
 - MxPEG クリップを再生している場合に可能
- **範囲を指定して MxPEG クリップとして保存(For FileServer)**
 - ファイルサーバのパスで録画画像を取得している場合に可能
- **範囲を指定して AVI ファイルとして保存(For FileServer)**
 - ファイルサーバのパスで録画画像を取得している場合に可能

15. 映像検索

表示しているカメラのイベント検索をおこなえます。

詳しくは Pg.20 以降の [5\)録画画像の表示/検索/再生/バックアップ保存](#)を参照。

16. レイアウト編集


マルチビュー及びマップビューのレイアウトを作成及び編集します。

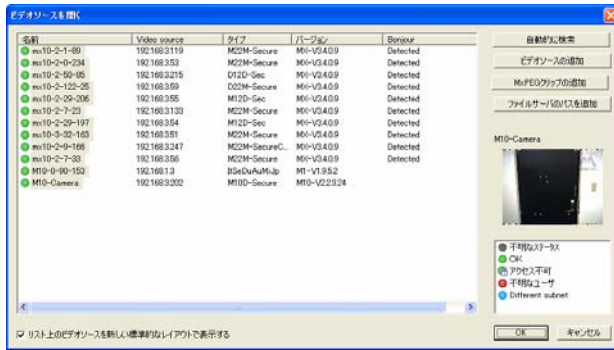
詳しくは Pg.9 以降の [4\)マルチビュー/マップビューレイアウト](#)を参照。

4). マルチビュー/マップビューレイアウト

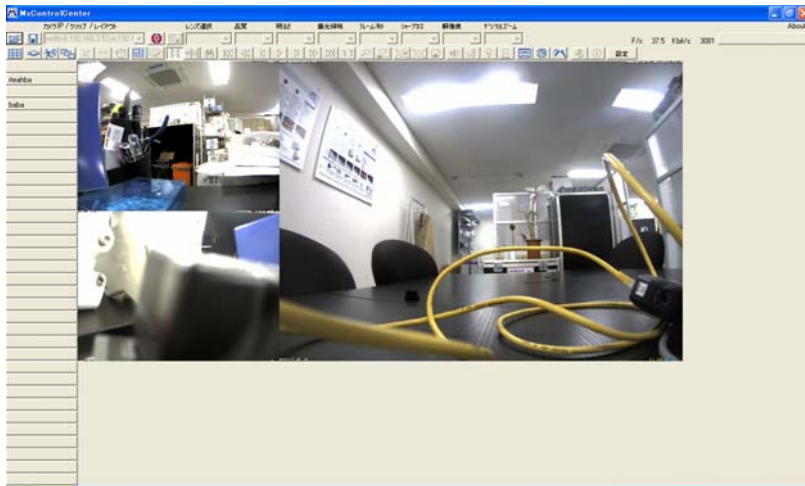
1. マルチビューの設定方法

A) マルチビューのレイアウト設定を自動でする。


- ① 画面左上の  をクリックして、ビデオソースのページを開きます。
- ② 表示したいカメラ、MxPEG Clip、ファイルサーバのパスから表示・選択し、OK をクリックします。
* 必ず左下の「リスト上のビデオソースを新しい標準的なレイアウトで表示する」にチェックマークを入れます。

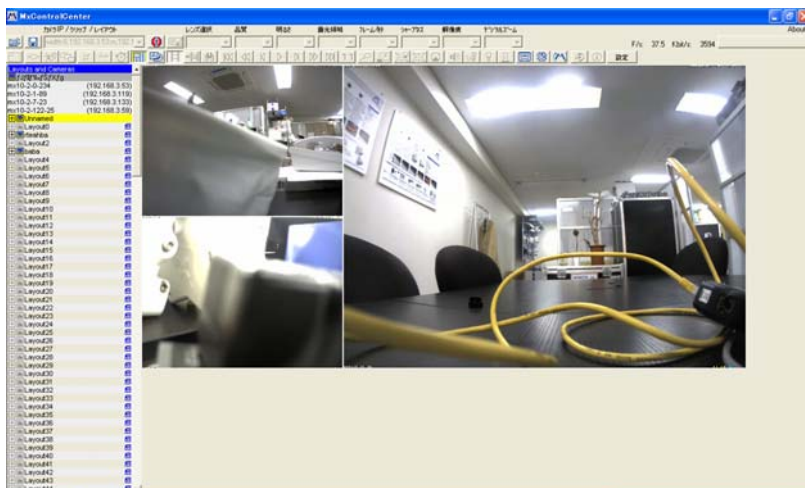


③ MxControlCenter が自動的に最適なマルチビューのレイアウトで表示します。

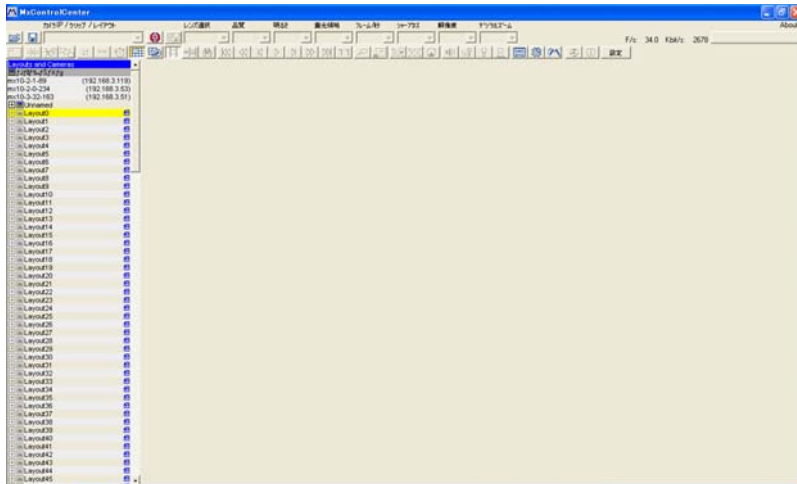


B) マルチビューのレイアウト設定を手動で変更する。

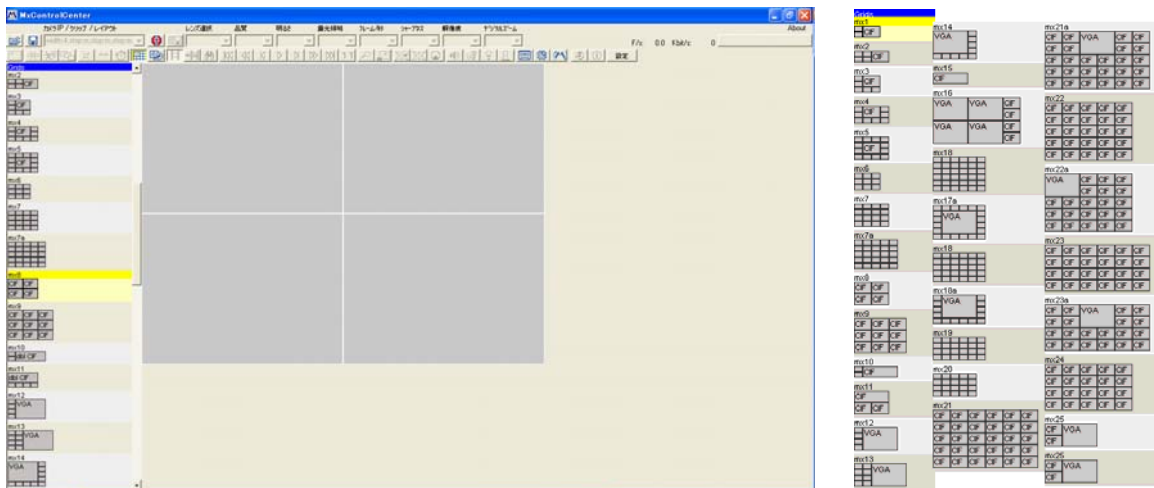
- ① メニュー・バーの  をクリックすると、マルチ画面設定画面になります。



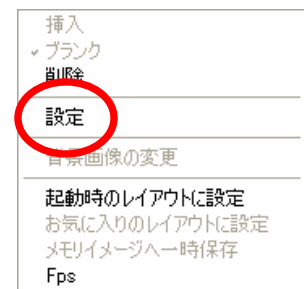
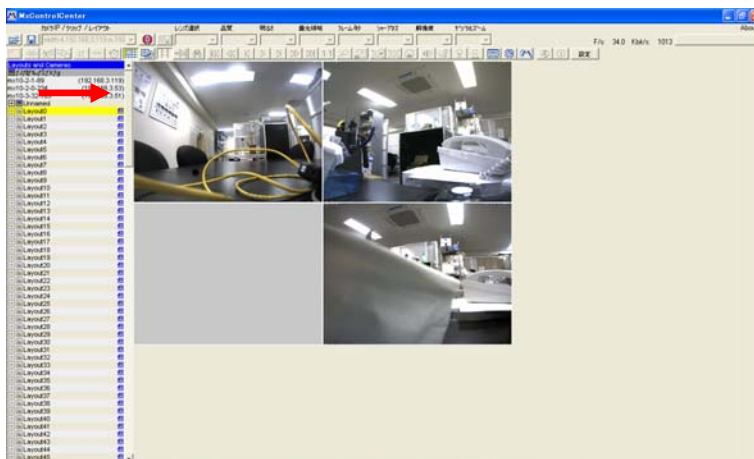
- ② 初めにレイアウト・メニューのなかから、Layout0~49 からひとつ選択します。(順番は後にソフトボタンとして反映されます)



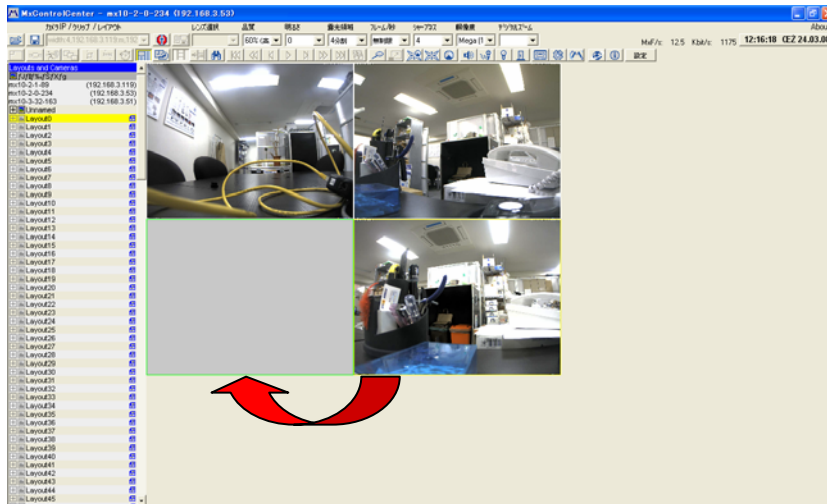
- ③ 次に左側のレイアウト・オプションの中から、表示したいレイアウトを選択すると、下記のような表示になります。




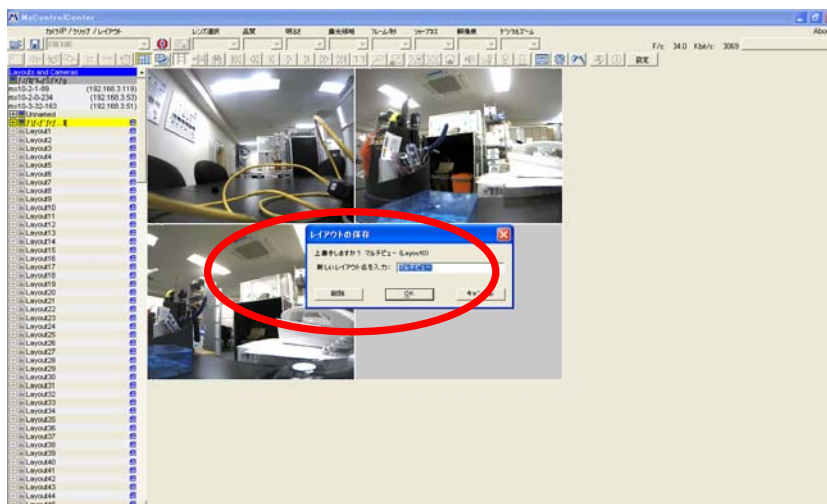
- ④ レイアウト編集ページのカメラリストから表示したいカメラを選択して、マスの上にドラッグ&ドロップすると、画像が表示されます。または、マスの上で右クリックし、設定をクリックするとエレメント設定から個々に設定することもできます。エレメント設定について詳しくは、Pg.15 以降の**エレメント設定**を参照。




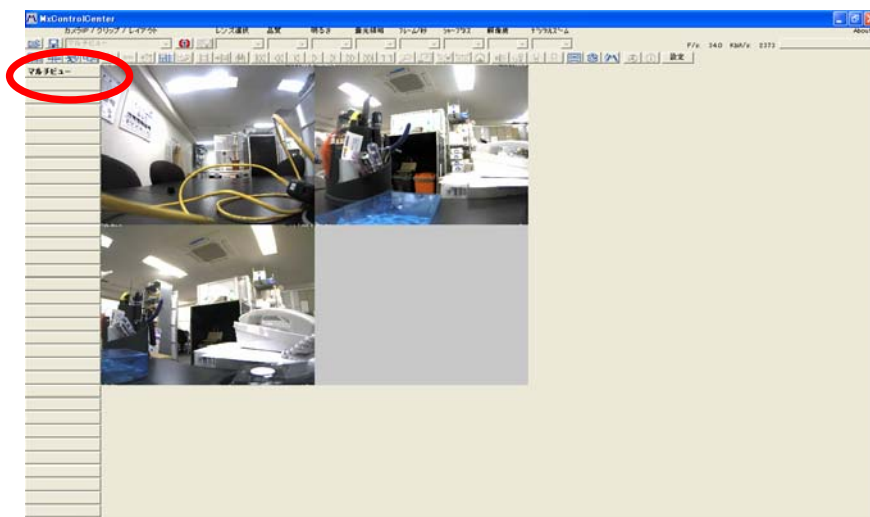
- ⑤ 他のカメラも同様に表示させます。また、表示されているカメラの画像をドラッグして、表示したい場所に移動すると、容易にカメラ画像が移動できます。




- ⑥ Layout(初めにレイアウト・メニューのなかから、Layout0~49 からひとつを選択したもの)の右側にある、 をクリックすると、下のような画面になり、レイアウトの名前を登録し保存することができます。

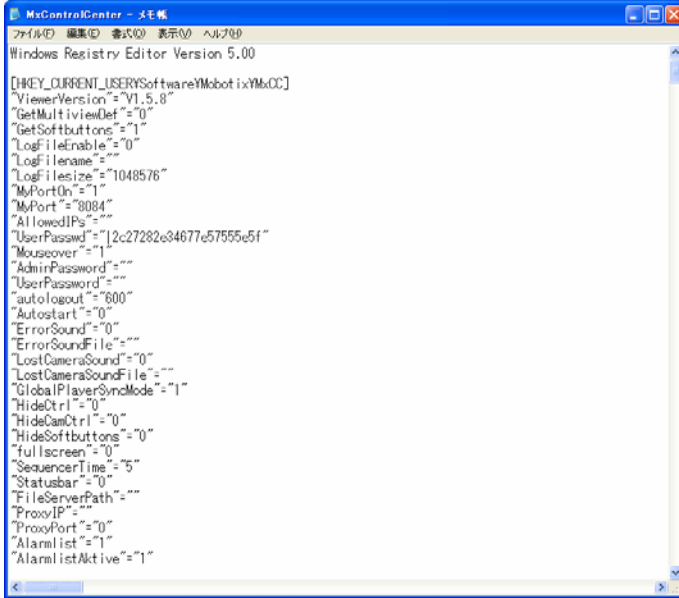


- ⑦ 最後にメニュー・バーの  をクリックして、マルチ画面の設定を終了します。



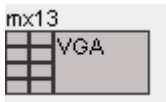
2. マルチビューレイアウトのオリジナルの設定方法

- ①  「構成設定の保存」から MxControlCenter の構成設定を保存すると (pg.7 を 12.構成設定の保存を参照)、同フォルダ内に MxControlCenter の構成ファイル「*.ini」が作成されます。
「*.ini」ファイルを見つけたら、それをメモ帳で開きます。



- ② 設定を変更します。(* 必ず MxControlCenter が起動していないことを確認してください)
新しく追加することはできないので、表示したいレイアウトに一番近いレイアウトを変更します。

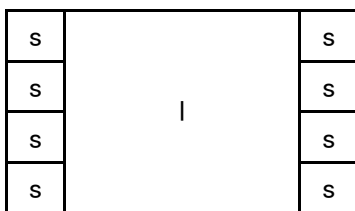
"MultiviewDefiniton14"="grid=mx13:width=6:table=s,s,l,s,s,s,s,s"の意味



- grid・・・レイアウトの名前
- width・・・レイアウトの幅
- table・・・レイアウト内のカメラのイメージサイズ
 - s(160×120), ds(320×120)
 - m(320×240), dm(640×240)
 - l(640×480), dl(1280×480)

レイアウトを作成する場合、まず幅がいくついるか計算します。s を幅数:1とすると、ds 及び m は幅数:2、dm 及び l は幅数:4、dl は幅数:8となります。そして、上段から順に割り振っていきます。

例 1) VGAサイズの画像の周りにPDAサイズの画像を右と左に配置する場合

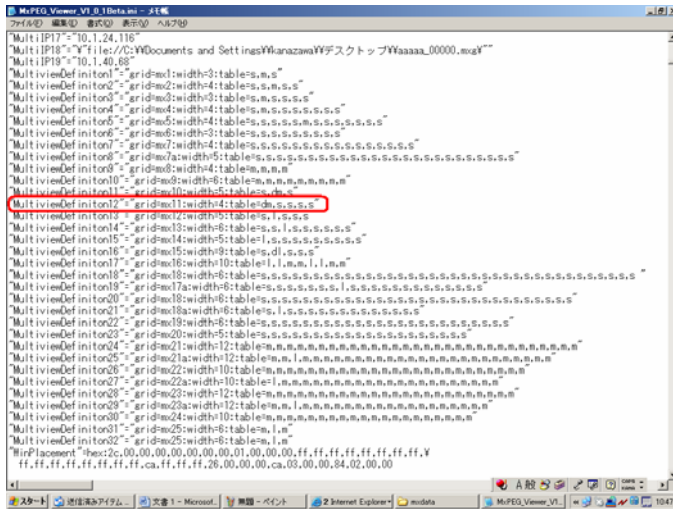


まず、左記のように図を作ります。そして、幅数を数えます。この場合6となります。次に配置を設定します。上から s,l,s となり、下の段に行きます。ここで、注意しなければならないのは、既に上段で l (VGA)はカウント済みですので数えません。よって、s,s,のみとなります。3 段目、4 段目も同様にします。

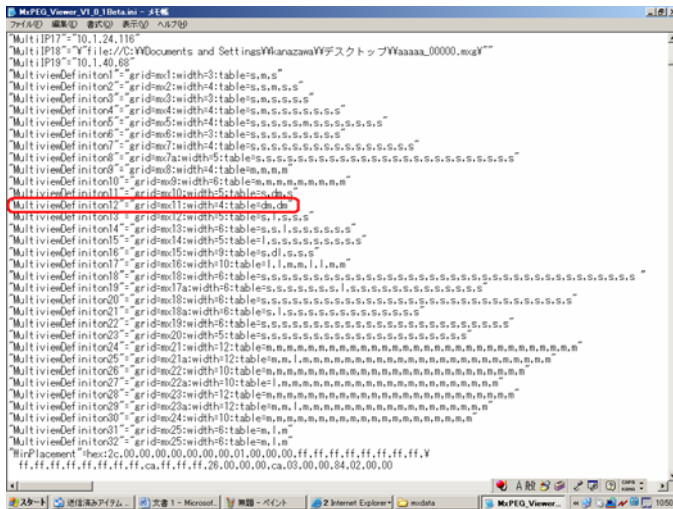
最終的には grid=mx13:width=6:table=s,l,s,s,s,s,s,s,となります。(mx13 には自由に名前を入力して下さい。)

例).  から   へ変更する場合

① "MultiviewDefiniton12" = "grid=mx11:width=4:table=dm,s,s,s,s"を探して下さい。

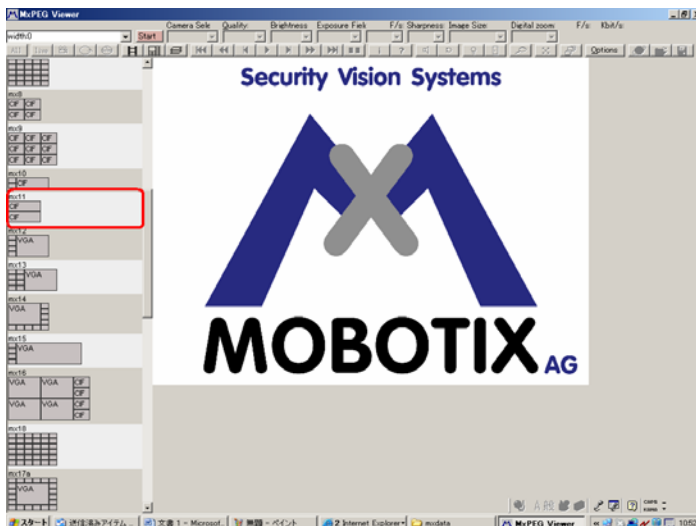


② そちらを "MultiviewDefiniton12" = "grid=mx11:width=4:table=dm,dm"と入力して下さい。



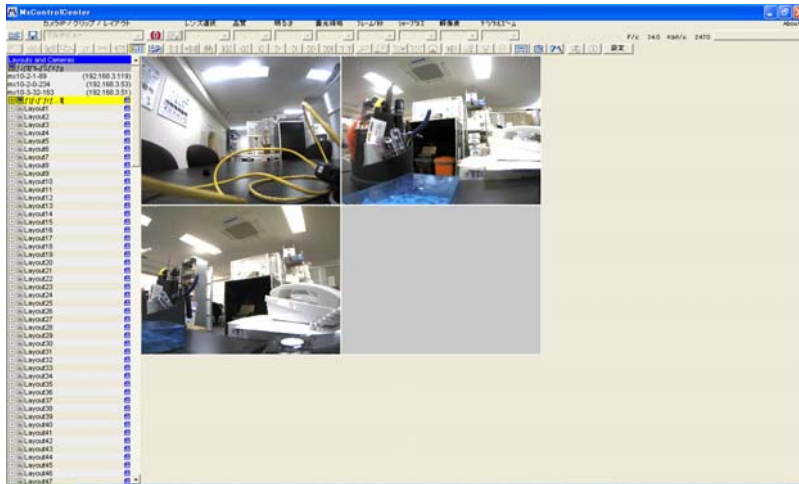
③ 最後に上書き保存を行って終了します。


3. MxControlCenter を開き、レイアウトが変更されているか確認してください。

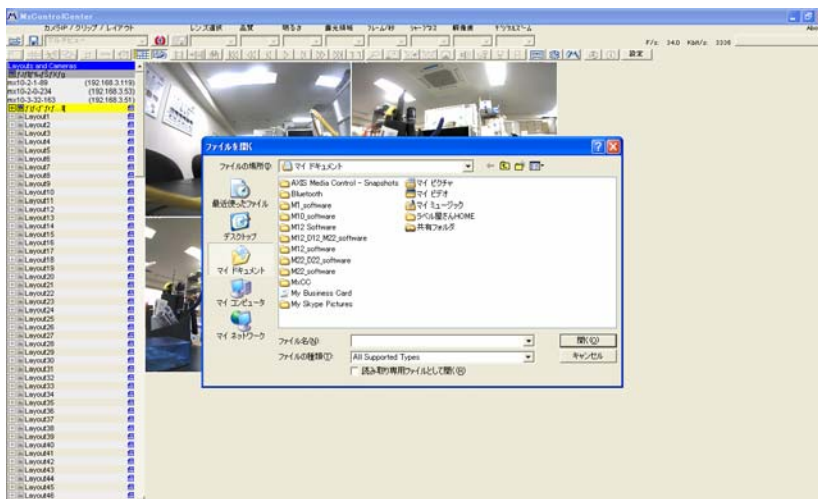


3. マップビューの設定方法

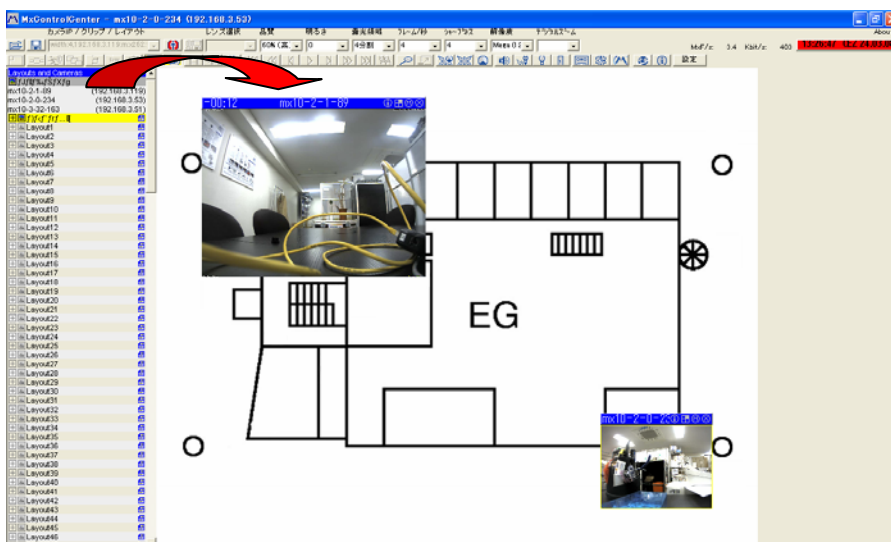
1. 初めに、マップ上に表示させたい画面がすべて入るようにマルチ画面を作ります。



2. マルチ画面を作り終え、をクリックすると、背景画像を下記のようファイルを選択することができます。(ファイルの種類は「*.jpg」、「*.gif」、「*.bmp」が選択できます)



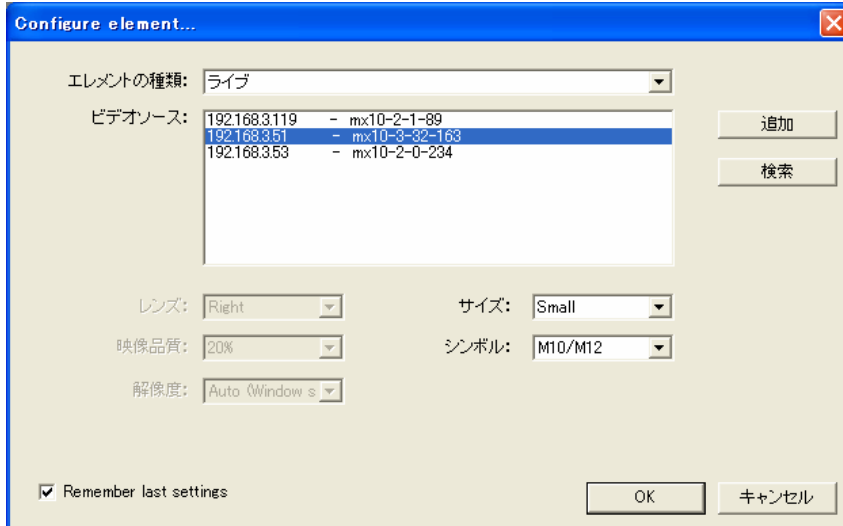
3. ファイルを開くと背景画面が表示されます。カメラリストから表示したいカメラを画面内にドラッグ&ドロップすると、背景画面内に画像を表示することができます。



4. カメラ画像を表示したら、画像内で右クリックをして、「設定」を選択すると、エレメント設定のページが表示され、大きさやシンボル表示の設定が可能です。

サイズ: Tiny(極小)、Small(小)、Medium(中)、Large(大)

シンボル: None(なし)、M10/M12 、M10i/M12i 、D10/D12 、V10/V12 、M22 、analog 



5. また、背景画像内にアイコンを作成することも可能です。背景画像内で右クリックをして「挿入」を選択します。エレメント設定の「Pg.18 ステータスシンボル」と「Pg.19 フォーカスウィンドウ」を参照下さい。

エレメント設定

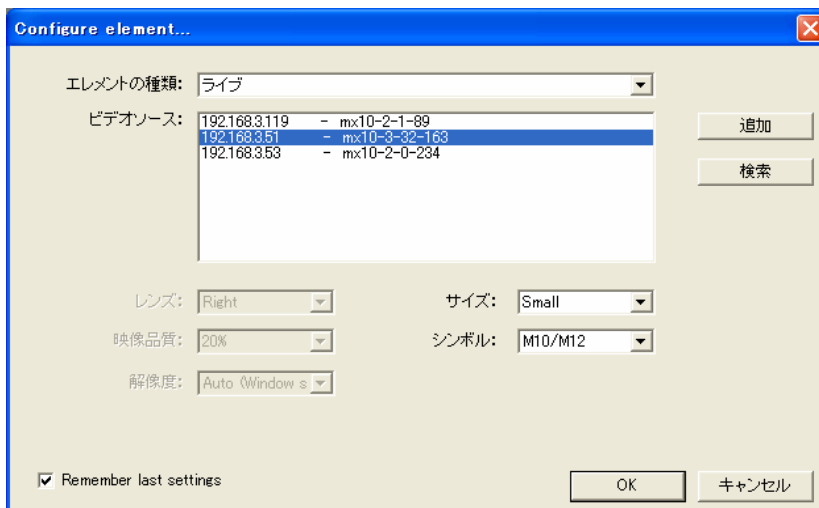
なし: なし

ライブ: カメラのライブ画像の表示設定することができます。マップビュー上でライブ画像を表示する場合は、ここに表示サイズ設定とシンボル設定(アイコン表示)することができます。

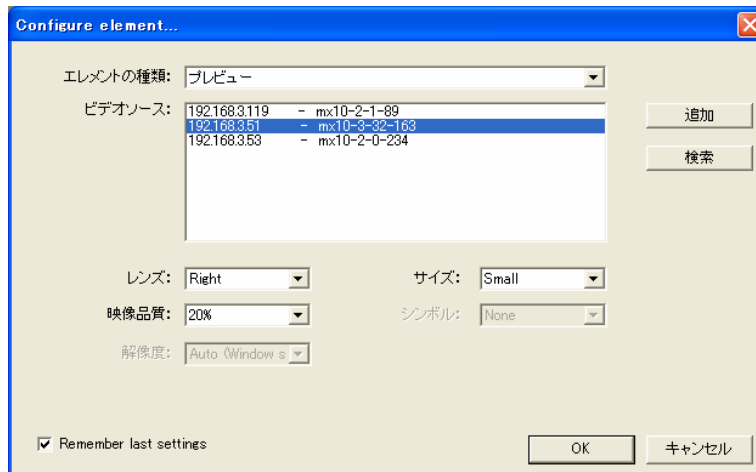
サイズ: Tiny(極小)、Small(小)、Medium(中)、Large(大)

シンボル: None(なし)、M10/M12 、M10i/M12i 、D10/D12 

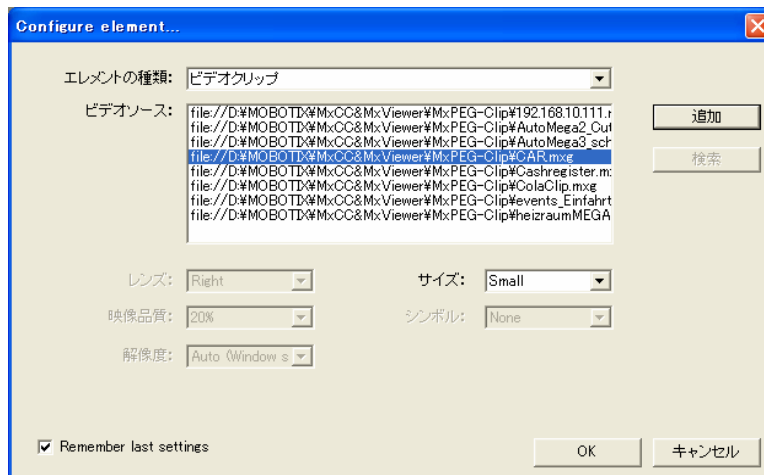
V10/V12 、M22 、analog 



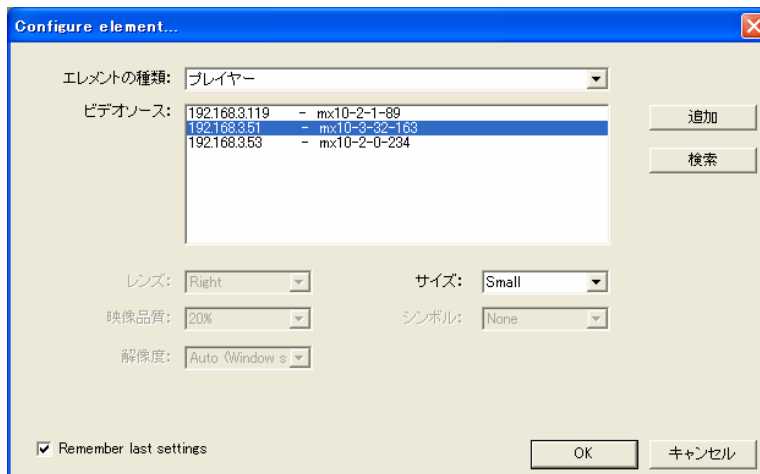
プレビュー：カメラのライブ画像とは別にそれぞれのレンズ単位で表示をすることができます。プレビューするカメラのレンズとその JPEG クオリティを設定します。また、マップビュー上でライブ画像を表示する場合は、ここに表示サイズを設定することができます。



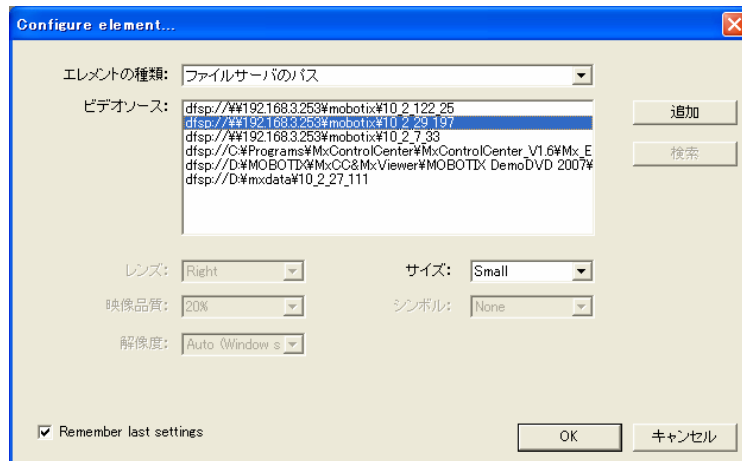
ビデオクリップ：右の追加ボタンから MxPEG クリップ(*.mxg)を選択し表示することができます。マップビュー上でライブ画像を表示する場合は、ここに表示サイズを設定することができます。



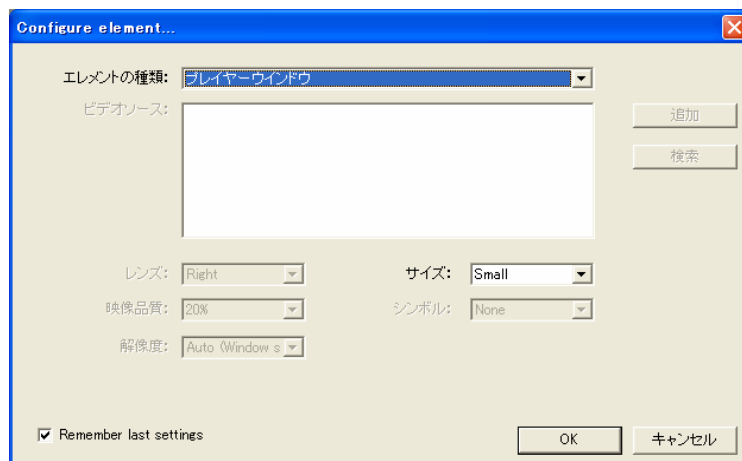
プレイヤー：カメラの過去画像再生ページを表示します。マップビュー上でライブ画像を表示する場合は、ここに表示サイズを設定することができます。



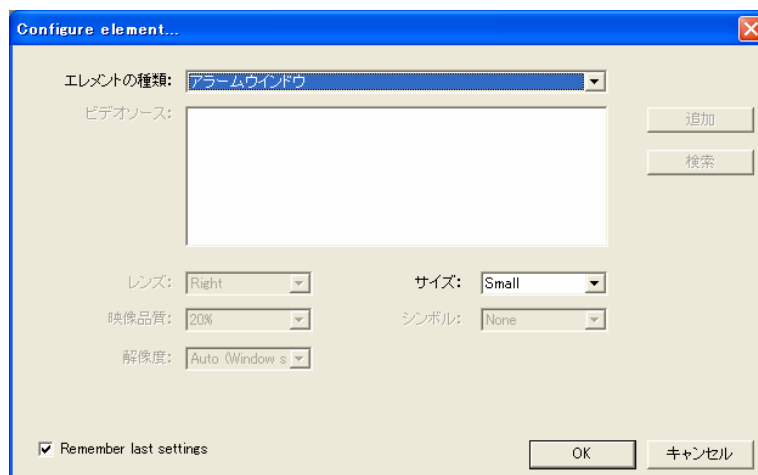
ファイルサーバのパス : ファイルサーバのパスを追加ボタンから設定し、直接過去画像をファイルサーバの共有フォルダから引き出し表示します。マップビュー上でライブ画像を表示する場合は、ここに表示サイズを設定することができます。



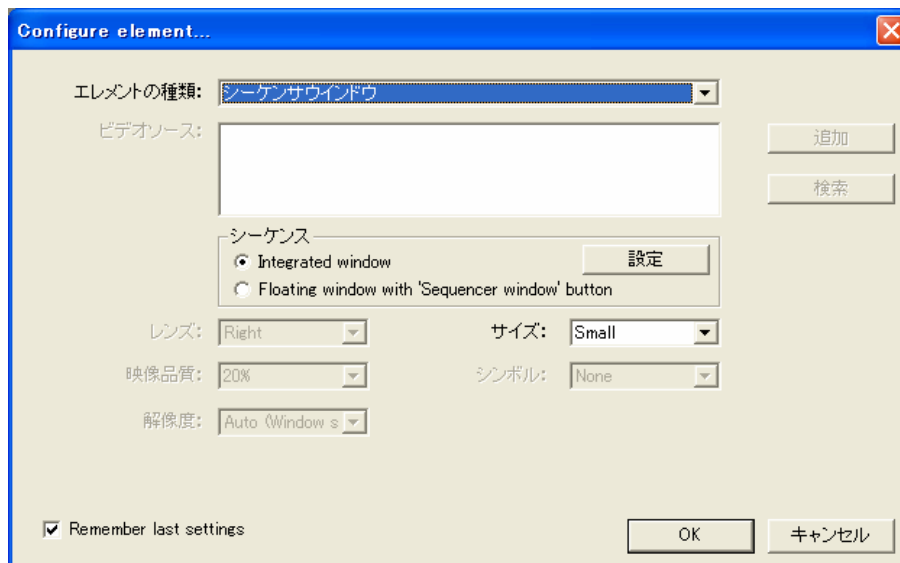
プレイヤーウィンドウ : アラームリストでリストアップされた画像をクリックした場合に、プレイヤーウィンドウで過去画像を表示します。マップビュー上でライブ画像を表示する場合は、ここに表示サイズを設定することができます。






アラームウィンドウ : アラームウィンドウを表示します。マップビュー上でライブ画像を表示する場合は、ここに表示サイズを設定することができます。



シーケンサウィンドウ : シークエンスウィンドウを表示します。マップビュー上でライブ画像を表示する場合は、ここに表示サイズを設定することができます。

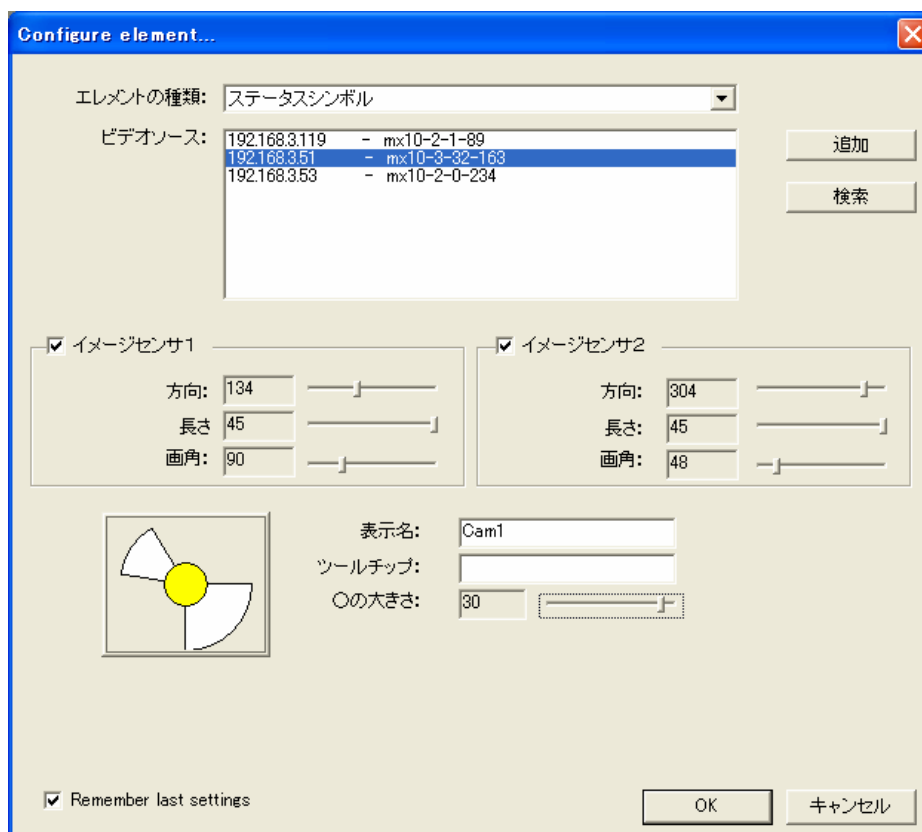


ステータスシンボル : イメージセンサの設定からアイコンを作成し、マップ上に貼り付けることができます。アイコンは、MxStatus によって監視されており、カメラの状態によって、色を自動的に変わり、現在の状況を簡単に判別することが出来ます。

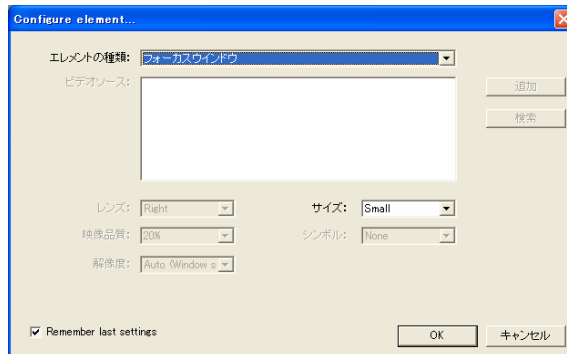
-  赤 : カメラとのネットワークが遮断中
-  黄 : カメラとのネットワーク接続は正常だが、誰も監視していない状態
-  緑 : ネットワーク上の他の PC によって、ライブ監視中

マップ上のアイコンを 1 クリックすると、カメラのライブ画像は Focus window に表示されます。

また、ダブルクリックすると、カメラのライブ画像は、新しいウィンドウで元の画像サイズで表示されます。





フォーカスウィンドウ : Status symbol で作成したカメラのアイコンを 1 クリックした場合に、ライブ画像を表示するウィンドウを設定します。二つ以上の Focus window を設定した場合、表示したいほうの Focus window をクリックして、Status symbol をクリックします。



'Close windows' ボタン (close all floating Live window) : マップ画面上に、「close windows」のソフトボタンを作成します。このソフトボタンをクリックすると、ダブルクリックして表示されたライブウィンドウを一斉に閉じることができます。

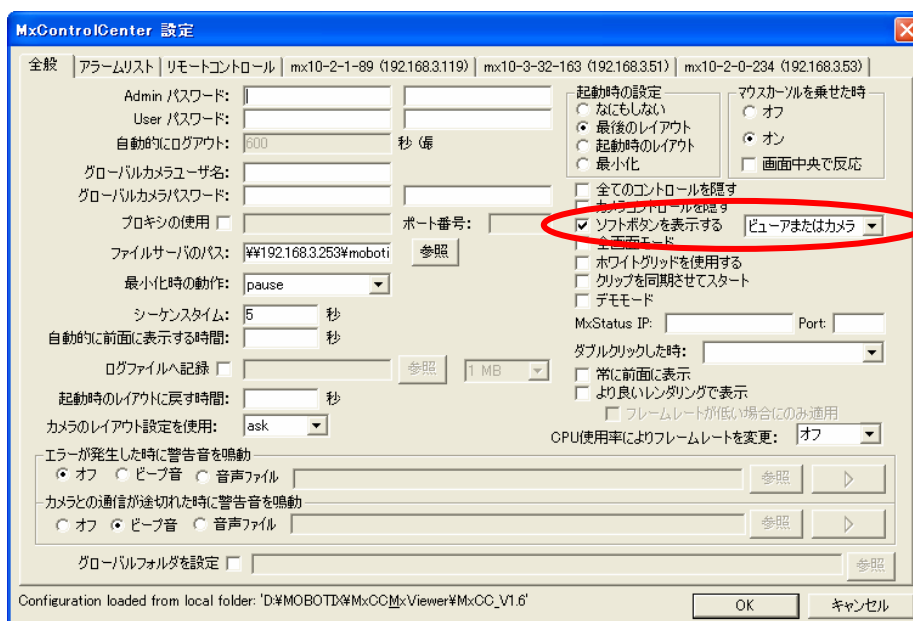
'Configure Sequencer' ボタン : マップ画面上に、「configure Sequencer」のソフトボタンを作成します。このボタンをクリックすると、シーケンスウィンドウの表示カメラ設定を行なう事ができます。

'Layout' ボタン : マップ画面上に、あらかじめ作成したあるレイアウトのソフトボタンを作成します。このソフトボタンをクリックすると、設定されたレイアウトページを表示します。

6. 最後に、をレイアウトに名前をつけ、をクリックし、レイアウトの保存の「OK」をクリックして終了です。

4. ソフトボタンの設定方法

設定 をクリックし、全般の「ソフトボタンを表示する」の設定を、「ビューワーのみ」にすると、常にカメラレイアウトのソフトボタンが表示され、ワン・クリックで簡単に設定したマルチビュー、マップビューを表示することができます。



5). 録画画像の表示 / 検索 / 再生 / バックアップ保存

1. 表示/検索

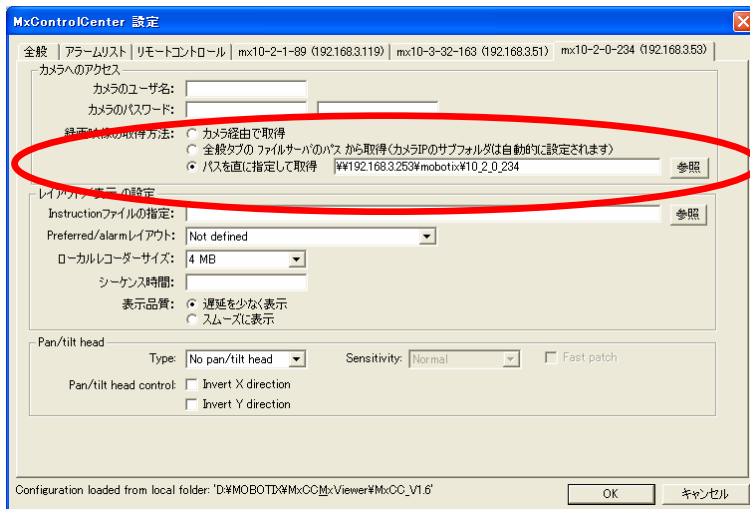
1. 初めに、**設定** のカメラタブを開き、録画画像の取得方法を選択します。


ア) カメラ経由で取得

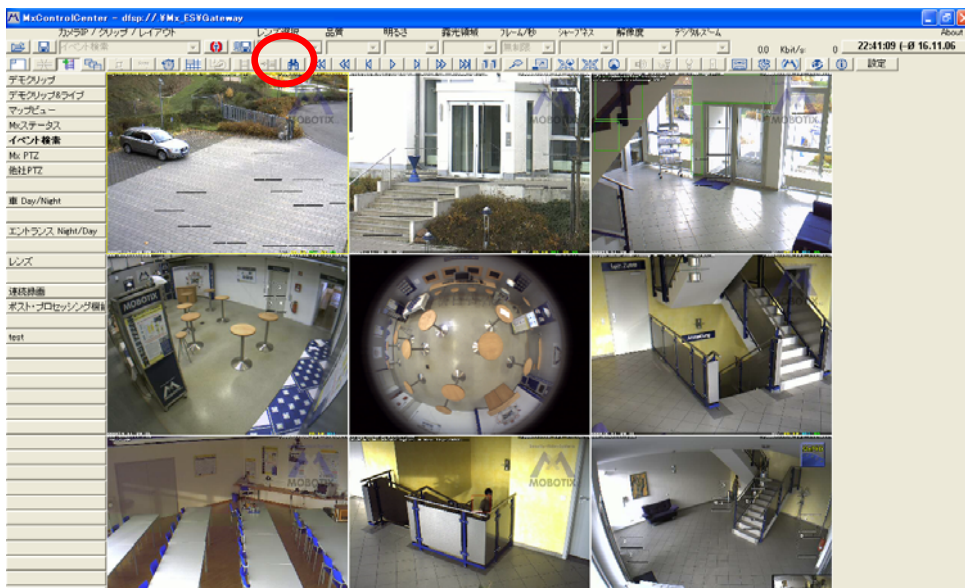
イ) 全般タブのファイルサーバのパスから取得(カメラ IP のサブフォルダは自動的に設定されます)


ウ) パスを直に指定して取得

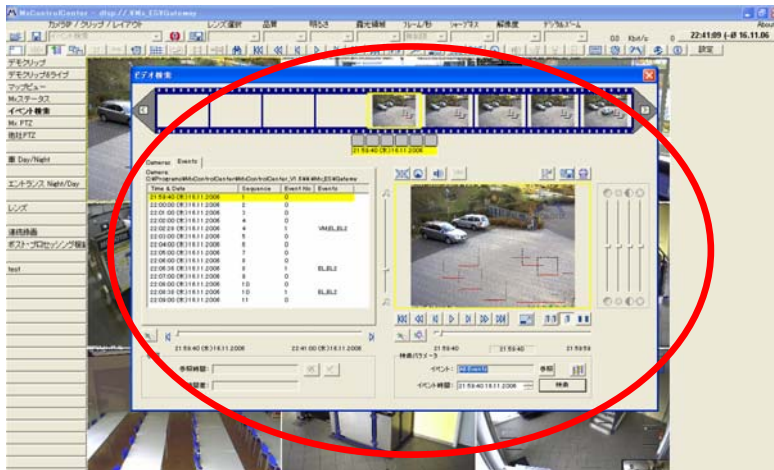
* カメラ経由で取得するよりも、ファイルサーバから直接取得した場合のほうが検索、再生、バックアップのパフォーマンスは優れています。ローカルネットワーク上にファイルサーバがある場合は、イ)もしくはウ)をお勧めします。



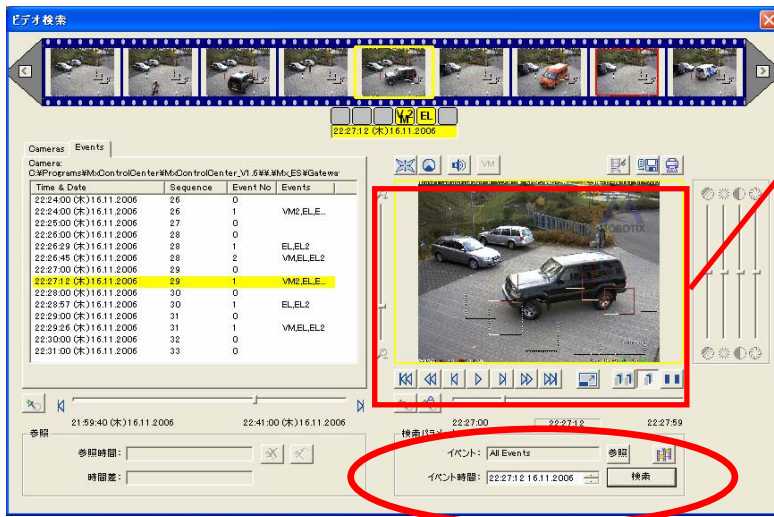
2. 次に録画画像を見たいカメラを表示し、(マルチビュー、マップビューの場合は、カメラ画像上でクリックして選択)その後、 のアイコンをクリックします。



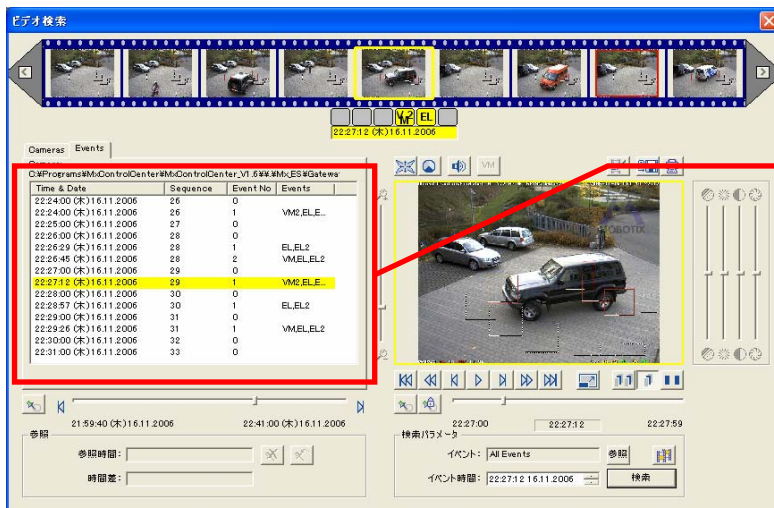
3.  のアイコンをクリックすると、画面中央に「映像検索」のページが表示されます。





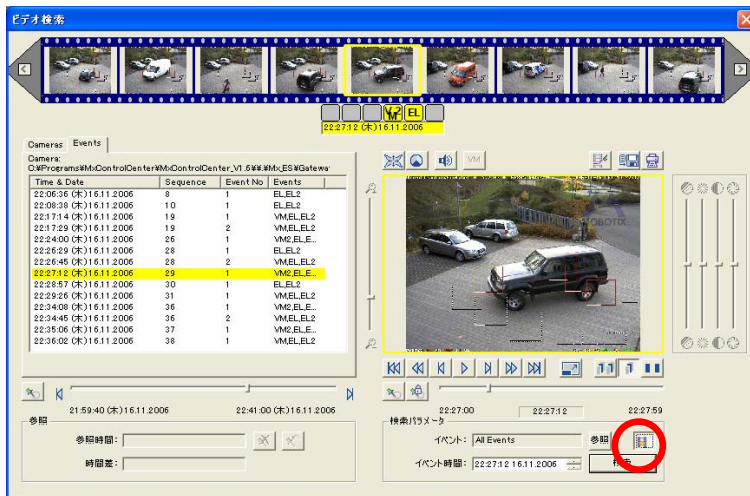
4. 映像検索右下のイベント イベント: とイベント時間 イベント時間: (時:分:秒 日:月:年)で、過去画像を表示したい時間を指定し、検索 をクリックすると、その時間の録画画像(イベント録画の場合は、一番近い時間帯の録画画像)が、プレイヤー上に表示されます。





5. ページ左側は「カメラ選択/イベントのリスト表示」になり、日時とシーケンス番号、クリップ内に含まれるイベント発生回数とそのイベントの種類を表示します。リストをクリックしても、プレイヤー上にその録画画像が表示されます。




6. 連続録画で録画している場合、イベントが発声したクリップのみを表示することが可能です。映像検索ページ右のをクリックすると、指定したイベントが発生したときのみのリストを表示します。元に戻す場合は、をクリックします。




7. マルチビューやマップビューで同画面上に表示され、更にすべてのカメラがファイルサーバのパスから直接画像を取得している場合、参照時間を設定し、その時間でそれら全ての画像検索を行うことができます。これにより、特定のシーケンスを参照ポイントとして設定し、別のシーケンスを再生した場合のポイントからの経過時間を調べたり、複数のカメラを使用している場合、参照ポイントに一番近い別カメラの映像をすばやく探し出したりする事が可能です。

参照ポイントを設定するには、イベントリストから基準にしたいイベントを選択してからイベントリストの下にあるボタンを押すか、イベントビューア画面で映像を再生し、再生を停止した後に、プレイヤーの下にあるボタンを押すと設定できます。すると、参照時間部分が緑色になり、参照ポイントが設定されます。この状態で他のイベントを選択/再生すると、時間差が表示されます。

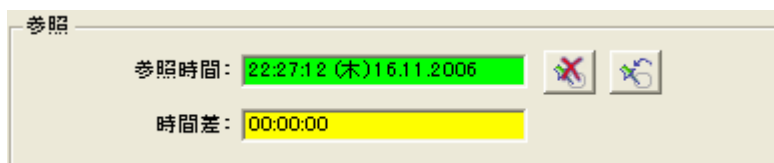
複数のカメラを使用している場合は、カメラタブから別のカメラを選び、イベントタブを表示すると、参照ポイントに一番近いイベントが黄色で選択されて表示されます。

参照ポイントをすぐに表示したい場合はボタンをクリックします。

参照ポイントを再設定するにはボタンを再度クリックします。

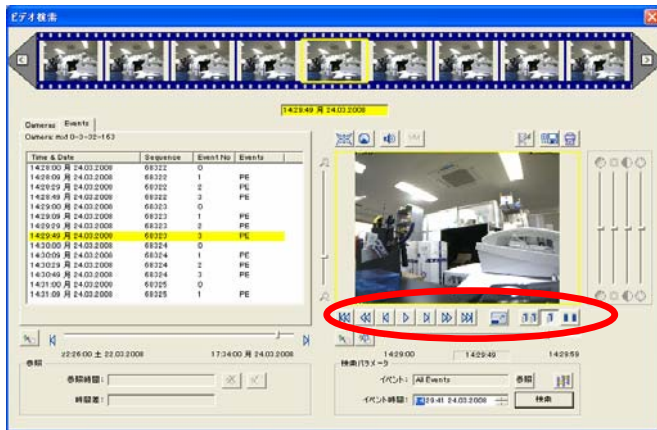
参照ポイントを解除したい場合はボタンをクリックします。

参照ポイントを再生画面と連動させる場合はボタンをクリックします。















2. 再生/巻き戻し/早送り

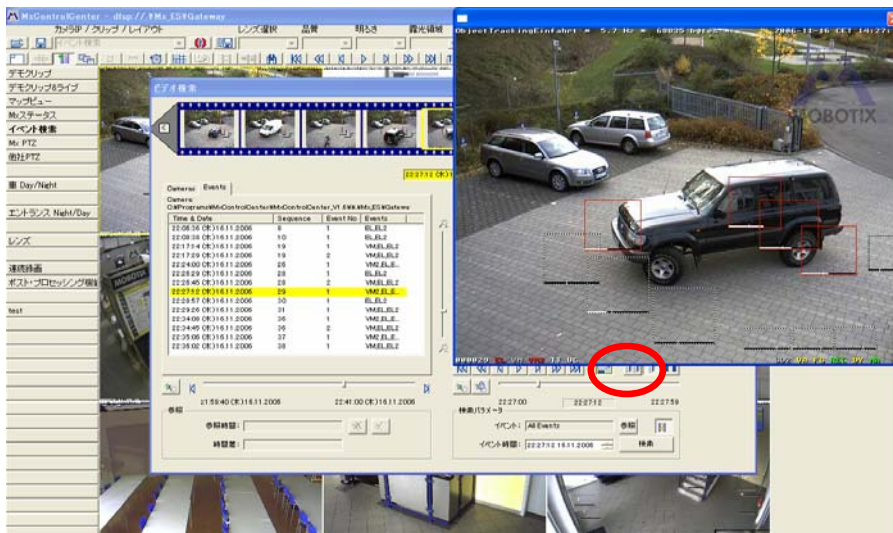
1. 表示したい録画画像を、プレイヤー上に表示し、再生ボタン等を使用して過去画像を表示します。ボタンの説明は下記の図を参照下さい。





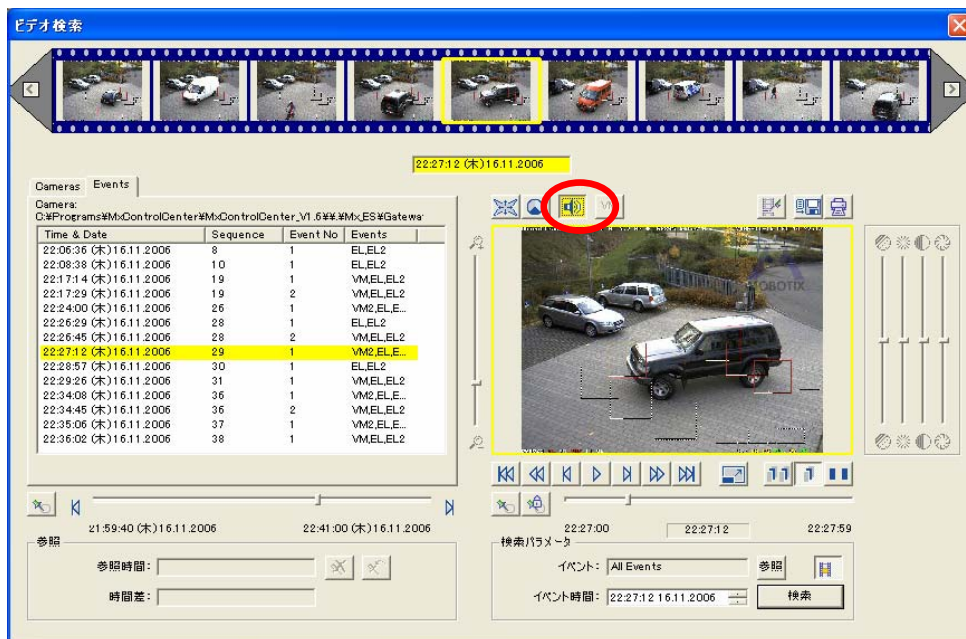
＜図1＞再生モードとボタンの動作


			
	各シーケンスを連続再生	選択された1シーケンスのループ再生	イベント発生時の静止画を順次再生
	一番古い映像の先頭へ	現在の映像の先頭へ	一番古いイベント発生静止画へ
	映像の巻き戻し再生	現在の映像の巻き戻し再生	イベント発生静止画の早送り巻き戻し
	1つ前のフレームへ	1つ前のフレームへ	1つ前のイベント発生静止画へ
	順次再生	1シーケンスのループ再生	イベント発生静止画を順次再生
	1つ後のフレームへ	1つ後のフレームへ	1つ後のイベント発生静止画へ
	映像の早送り再生	現在の映像の早送り再生	イベント発生静止画の早送り
	最新のフレームへ	現在の映像の最後へ	一番新しいイベント発生静止画へ





2. のボタンをクリックするか、イベントビューワー上でダブルクリックをすると画像が元々の画像サイズで表示されます。また、外枠をクリックしたまま引っ張ると、更に拡大表示をすることができます。元に戻す場合は、再度  をクリックするか拡大画像上でダブルクリックします。

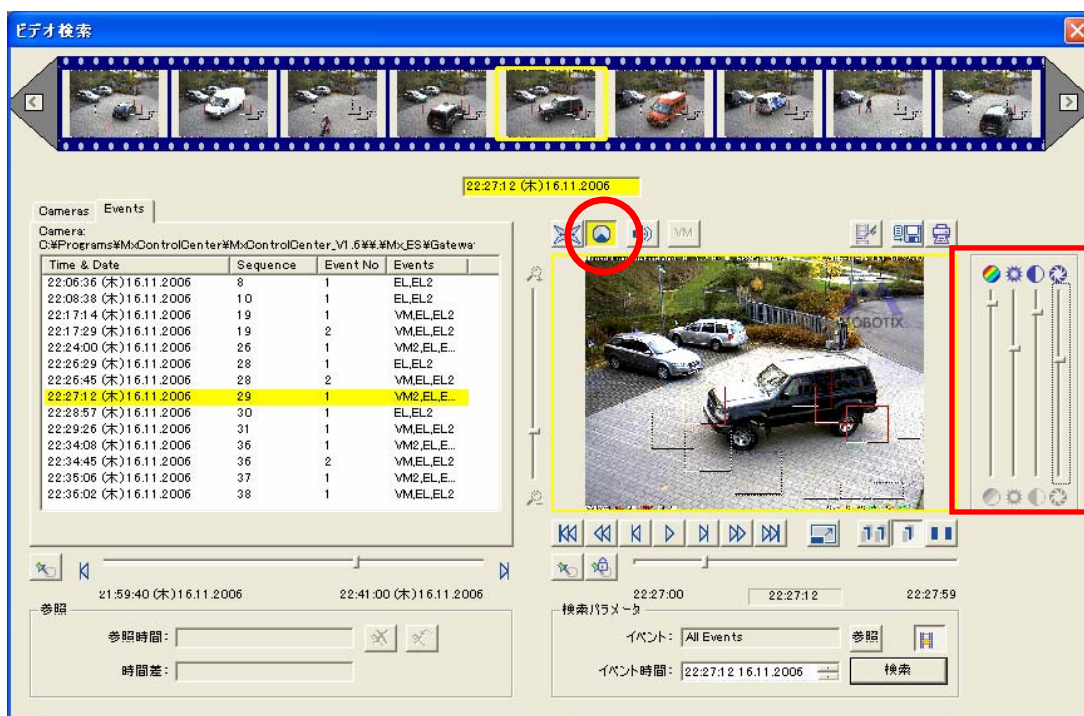




- 3 録画設定で音声を含んでいる場合は、 をクリックして録画画像の音声を確認することができます。音声を止める場合は再度  をクリックします。

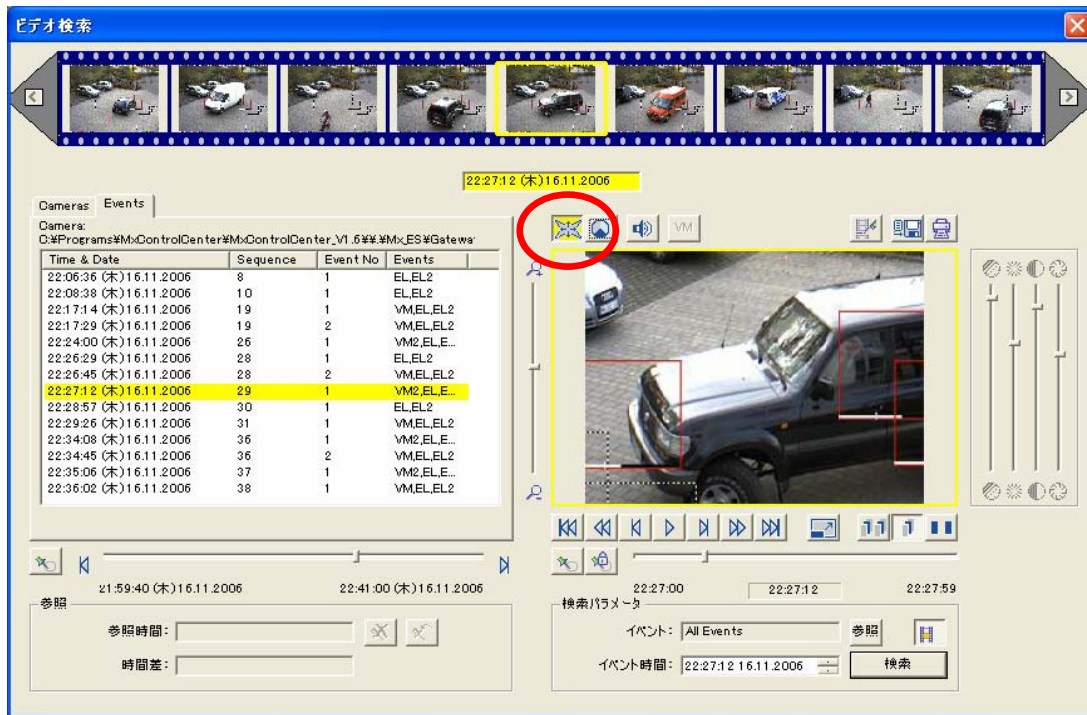


- 4 録画画像の元データを加工することなく、表示のみを変更することができます。このコントロールはプレイヤーの画面上にリアルタイムで働きますが、実際の録画データには影響しません。 をクリックして、ページ右の画質コントロールを操作します。



-  は、**彩度**を調整出来ます。下げるとモノクロ映像になります。
-  は、**明るさ**を調整できます。
-  は、**コントラスト**を調整できます。
-  は、**シャープ**を調整できます。

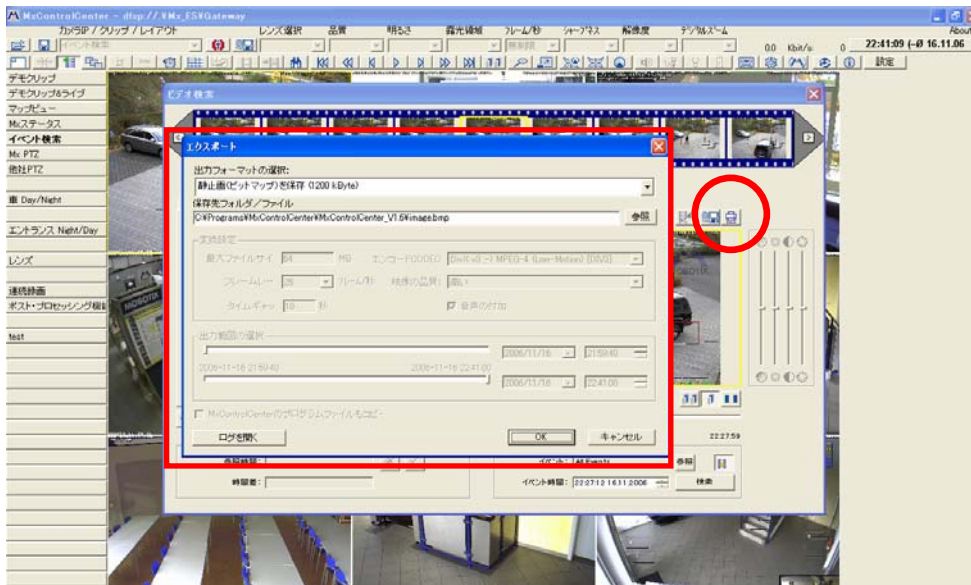


- 5 録画画像をデジタルズームしたい場合は  をクリックし、左側のズームコントローラーで拡大・縮小をおこないます。拡大した状態で画像内をクリックすると、その位置を中心に表示されます。ズームをやめる場合は再度  をクリックします。



3. バックアップ保存

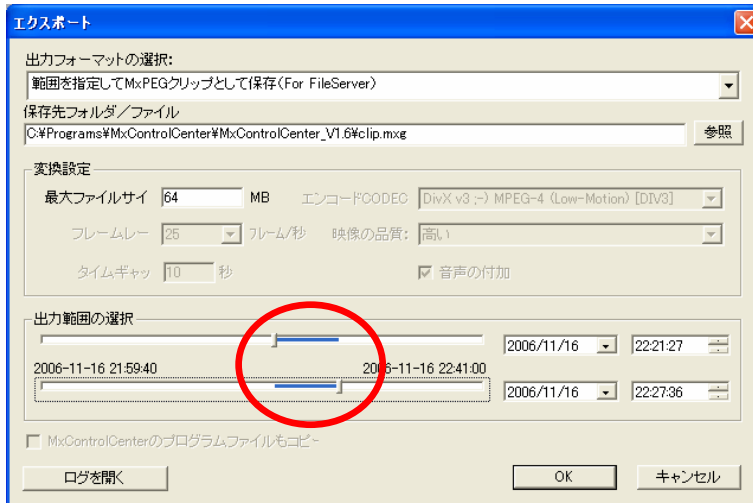
1. 録画画像をPCにバックアップを取るには、 をクリックします。 をクリックするとエクスポートの画面が表示されます。



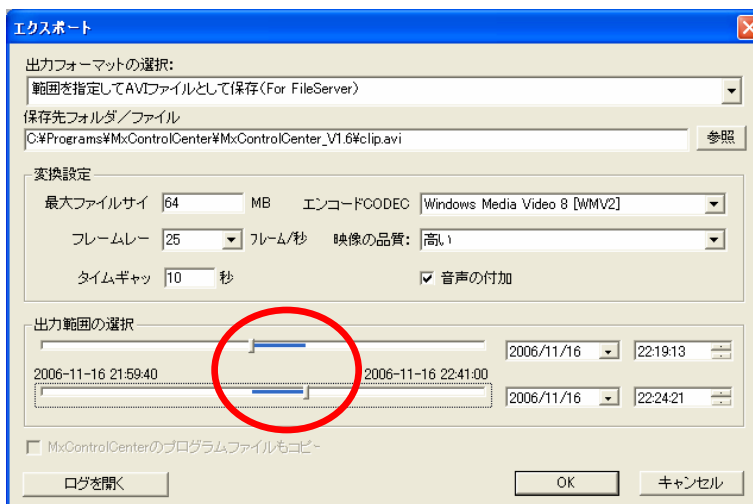
2. エクスポートボタンを押した瞬間の画像を静止画(*.bmp)に保存することができます。出力フォーマットの選択に「静止画(ビットマップ)を保存」を選び、「保存先」を参照から選択しOKをクリックします。



3. 期間を指定して、MxPEG クリップ(*.mxg)としてバックアップ保存することができます。出力フォーマットの選択で「範囲を指定して MxPEG クリップとして保存 (For FileServer)」を選択し、「保存先」を参照から選択します。次に、ひとつのファイルにおける最大ファイルサイズを入力して、最後に画面下の「出力範囲の選択」で開始日時(上バー)と終了日時(下バー)をバーや時間で選択し、OK をクリックします
- ※ カメラ経由から画像を取得している場合は、この機能は使用できません。
 - ※ あまり長期間の画像のバックアップは、ダウンロードに時間がかかります。
 - ※ バックアップされたファイルは、ファイルをダブルクリックして、MxControlCenter を指定していただくか、ビデオソースから MxPEG クリップの追加で表示再生することが可能です。



4. 期間を指定して、AVI ファイル(*.avi)としてバックアップ保存することができます。出力フォーマットの選択で「範囲を指定して AVI ファイルとして保存 (For FileServer)」を選択し、「保存先」を参照から選択します。次に、変換設定で、最大ファイルサイズ、フレームレート、タイムギャップ、エンコードするコーデック(CODEC)、映像の品質を入力して、最後に画面下の「出力範囲の選択」で開始日時(上バー)と終了日時(下バー)をバーや時間で選択し、OK をクリックします
- ※ カメラ経由から画像を取得している場合は、この機能は使用できません。
 - ※ あまり長期間の画像のバックアップは、ダウンロードに時間がかかります。
 - ※ バックアップされたファイルは、MediaPlayer や Real Player などの汎用のプレイヤーで表示することが可能です。但し、閲覧しているPCがデコードコーデックをインストールしていない場合、表示できないPCがございますのでご注意ください。




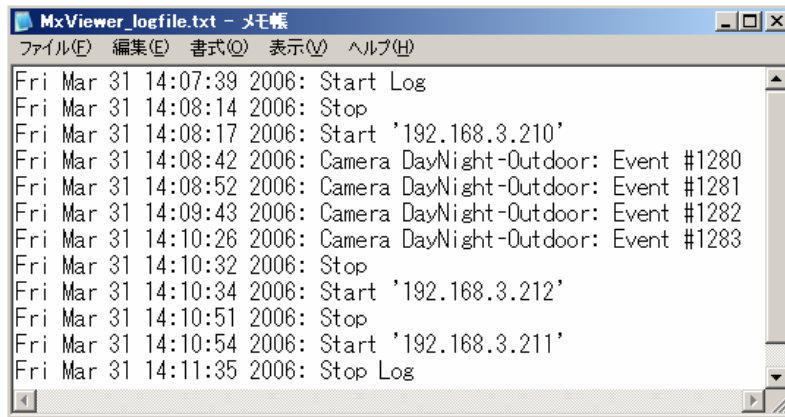
6). 設定 設定

1. 全般タブ

Configuration loaded from local folder: 'C:\Programs\MxControlCenter\MxControlCenter_V1.6'

- **Admin パスワード** :MxControlCenter の admin(管理者用)パスワード Pg.33 MxControlCenter のアクセス制限を参照
- **User パスワード** : MxControlCenter の user(ユーザ用)パスワード Pg.33 MxControlCenter のアクセス制限を参照
- **自動的にログアウト** : パスワードの自動ログアウトです。設定した時間が経つと、再度パスワードの入力が必要になります。
- **グローバルカメラユーザ名** : 表示するカメラのユーザ名を入力します。カメラの設定で、MxControlCenter にアクセス制限を与えていない場合に必要になります。また、カメラ個々にユーザ名が違う場合は、カメラのタグで設定を行います。
- **グローバルカメラパスワード** : 上記のグローバルカメラユーザ名で記載したユーザのパスワードを入力します。カメラの設定で、MxControlCenter にアクセス制限を与えていない場合に必要になります。また、カメラ個々にユーザ名が違う場合は、カメラのタグで設定を行います。
- **プロキシ** : プロキシを設定します。
- **ファイルサーバのパス** : ファイルサーバ経由で録画画像を表示/再生/検索/保存を行う場合、そのファイルサーバを指定します。また、カメラ個々にファイルサーバが違う場合は、カメラのタグで設定を行います。詳しくは Pg32 **4.カメラタグ**を参照。
- **最小化時の動作** : MxControlCenter を最小化している間の、タスクを設定します。
 - ◇ **stop all** : 全てのタスクを中止します。
 - ◇ **continue decoding** : 全てのタスクを続行します。
 - ◇ **pause** : タスクを最小化の間、一旦停止します。

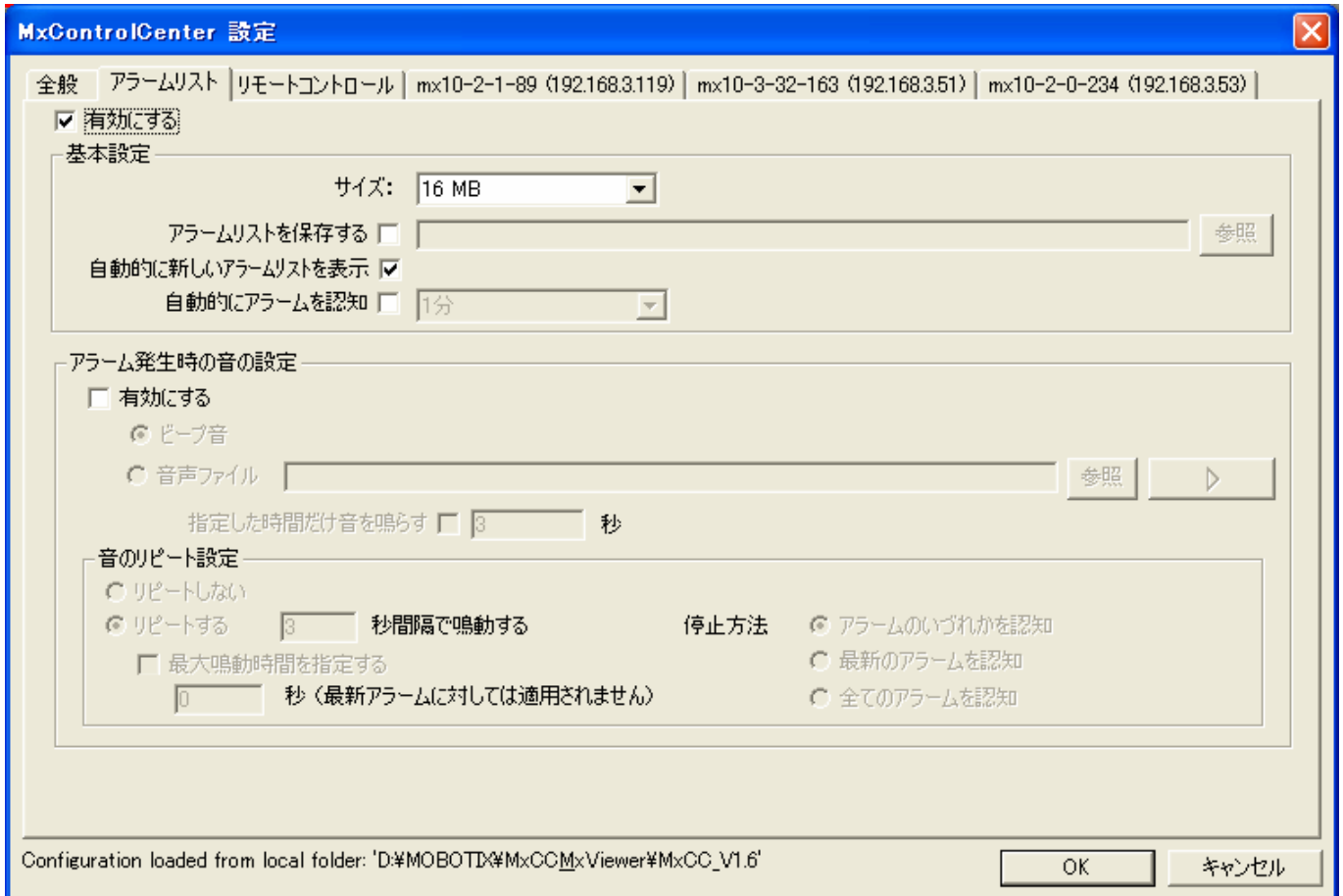
- ・ **シーケンスタイム** :  シーケンスの更新時間を設定します。カメラ個々に表示時間を設定したい場合は、カメラのタグで行います。詳しくは Pg32 **4.カメラタグ**を参照。
- ・ **自動的に前面に表示する時間** : MxControlCenter を起動している最中に、他のページが Top に来た場合、設定した時間後、自動的に MxControlCenter が前面に表示されます。
- ・ **ログファイル** : MxControlCenter のログを保存できます。



- ・ **起動時のレイアウトに戻す時間** : 起動時のレイアウト(スタートレイアウト)を設定し手いた場合、ここで設定した時間後に、自動的にそのレイアウト表示になります。
- ・ **カメラのレイアウト設定を使用** : 解像度やフレームレートといったカメラの設定を、カメラ個々にセーブすることができます。それらの設定を以下の設定に合わせてロードします。
 - ◇ **never** : 使用しない
 - ◇ **ask** : 確認する
 - ◇ **always** : 常に使用
- ・ **エラーが発生した時に警告音を鳴動** : エラーが発生された場合に、音声通知をします。
 - ◇ **ビーブ** : デフォルトサウンド
 - ◇ **ファイル** : 音声ファイル(*.wave)から選択
- ・ **カメラとの通信が途切れた時に警告音を鳴動** : カメラとの通信が途切れた場合、警告音を鳴らす設定ができます。また、カメラとの通信が途切れた場合、切断中のサインが表示されます。
 - ◇ **ビーブ** : デフォルトサウンド
 - ◇ **ファイル** : 音声ファイル(*.wave)から選択
- ・ **グローバルフォルダを設定** : グローバルフォルダを指定します。
- ・ **起動時の設定** : MxControlCenter 起動時の画像の表示設定を指定します。
 - ◇ **なにもしない** : なし(ビデオソースが起動)
 - ◇ **最後のレイアウト** : 最後に表示されていたレイアウトで表示
 - ◇ **起動時のレイアウト** : レイアウト編集で「起動時のレイアウトに設定」をしたレイアウトで表
 - ◇ **最小化** : 最小化
- ・ **マウスカーソルを乗せた時** : マウスカーソルを画像上に移動した場合、元々の画像サイズで表示します。
 - ◇ **オフ** : オフ
 - ◇ **オン** : オン
 - ◇ **画面中央で反応** : 画面の中央の小さなエリアにマウスが移動した場合のみ反応
- ・ **全てのコントロールを隠す** : すべてコントロールを非表示にします。(カメラ設定とメニューボタン)
- ・ **カメラコントロールを隠す** : カメラ設定のコントロールのみ非表示にします。

- ・ **ソフトボタンを表示する** : MxControlCenter のソフトボタンの設定をします。
 - ◇ **ビューアのみ** : 設定したレイアウトを表示します。
 - ◇ **カメラのみ** : 選択したカメラのブラウザのソフトボタンを表示します。
 - ◇ **ビューアまたはカメラ** : 通常は設定したレイアウトのソフトボタンを表示し、カメラを選択した場合に、そのカメラのブラウザのソフトボタンを表示します。
- ・ **全画面モード** : 全画面で表示します。
- ・ **ホワイトグリッドを使用する** : マルチビュー表示の場合、画像と画像の境界線を白線で囲みます。
- ・ **クリップを同期させてスタート** : もし、ふたつの MxPEG Clip ファイルを持っている場合、例えば一つ目は 00:01:00 から 00:05:00 まで、二つ目は 00:03:00 から 00:08:00 までもっている場合、それらのふたつのファイルを時間同期させて表示します。この場合、一つ目のファイルが 00:03:00 に達した場合、二つ目のファイルが再生されます。
- ・ **デモモード** : アクティブにした場合、カーソルを放置して 10 秒後に、デジタルズームのデモを、自動で行います。
- ・ **MxStatus** : MxStatus の設定をします。
- ・ **ダブルクリックした時** : 画像上でダブルクリックした場合の動作を設定します。
 - ◇ **No nothing** : なし
 - ◇ **Change Lens** : デュアルカメラの場合、表示レンズの切り替え
 - ◇ **Open Live Window** : 別ウィンドウでライブ画像を表示
- ・ **常に前面に表示** : 常に MxControlCenter を画面のトップに表示させます。
- ・ **より良いレンダリングで表示** : より良いレンダリングで表示します。
 - **フレームレートが遅い場合のみ適用** : フレームレートが遅い場合のみより良いレンダリングで表示します。
- ・ **CPU 使用率によりフレームレートを変更** : CPU の使用率にあわせて、フレームレートを減らします。

2.アラームリストタブ



- ・ **有効にする** : MxControlCenter のアラーム機能を使用します。(イベントが発生した場合の通知)

● 基本設定

- ・ **サイズ** : ロール上に保存しておく容量を決定します。
- ・ **アラームリストを保存する** : アラームリストを保存する場所を指定します。
- ・ **自動的に新しいアラームリストを表示** : アラームが発生した時に、ロールが表示されてなかった場合は、自動的にアラームリストを表示させます。
- ・ **自動的にアラームを検知** : 設定した時間後、自動的にアラームを認知します。

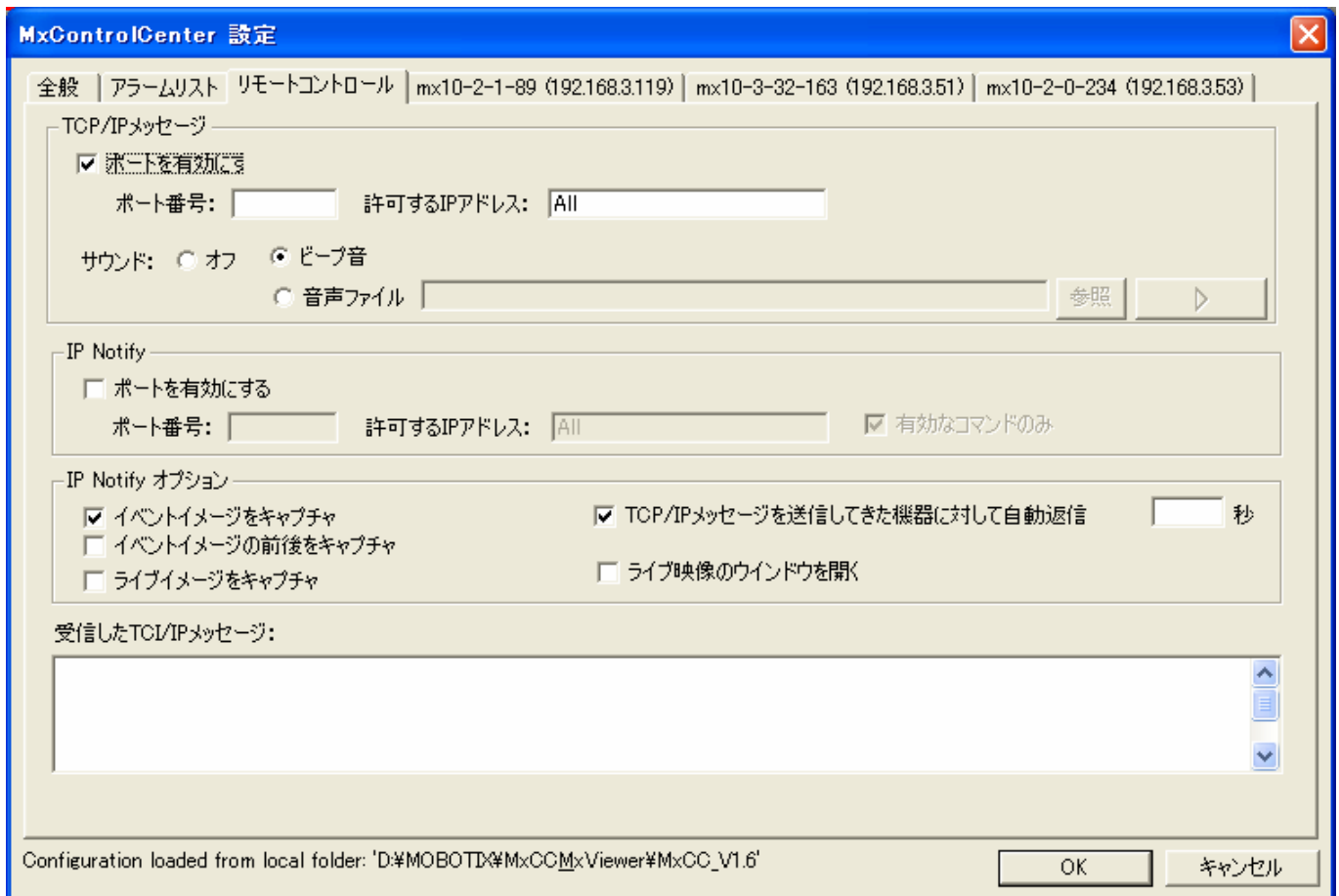
● アラーム発生時の音の設定

- ・ **有効にする** : アラームが発生した場合に、音を出します。
- ・ **ビープ音** : デフォルト音
- ・ **音声ファイルを使用** : Browse から指定 (*.wav に対応)
- ・ **指定した時間だけ音を鳴らす** : 設定した時間後、自動的に音が止まります。

● 音のリポート設定 : 音声通知をリポートします。

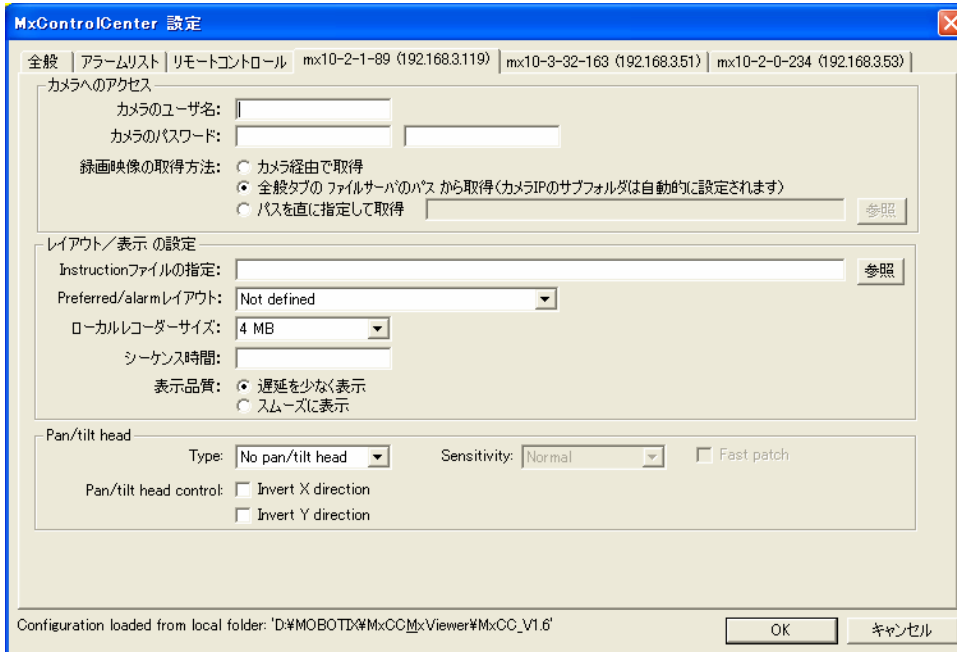
- ・ **オフ** : なし
- ・ **リピートする** : 設定した秒間隔で呼動します。
- ・ **最大鳴動時間を指定** : 新しいアラームを除いて、最大何秒間リポートするかを設定します。
- ・ **停止方法** : 以下の設定のアラームをクリックして認知するまで、設定した時間音を出します。
 - ◇ **アラームのどれか** : アラームのいずれかを認知
 - ◇ **最新のアラーム** : 最新のアラームを認知
 - ◇ **全てのアラーム** : 全てのアラームを認知

3. リモートコントロールタブ



- **TCP/IP メッセージ**
 - ・ **ポートを有効にする** : TCP/IP メッセージを受け取るポート番号を設定します。
 - ・ **サウンド** : TCP/IP メッセージを受け取った際に音声通知します。
- **IP Notify 用ポート**
 - ・ **ポートを有効にする** : IP Notify 用のポートを設定します。
- **IP Notify オプション**
 - ・ **イベントイメージをキャプチャ** : アラームリストにイベント時の画像をキャプチャします。
 - ・ **イベントイメージの前後をキャプチャ** : アラームリストにイベントの前後の画像をキャプチャします。
 - ・ **ライブイメージをキャプチャ** : アラームリストにライブ画像をキャプチャします。
 - ・ **TCP/IP メッセージを送信してきた機器に対して自動返信**
 - ・ **ライブ映像のウィンドウを開く** : ライブ画像をポップアップ表示します。



4. カメラタブ



● カメラへのアクセス

- ・ **カメラのユーザ名** : カメラのユーザ名を入力します。カメラの設定で、MxControlCenter にアクセス制限を与えていない場合に必要になります。
- ・ **カメラのパスワード** : 上記のカメラユーザ名で記載したユーザのパスワードを入力します。カメラの設定で、MxControlCenter にアクセス制限を与えていない場合に必要になります。
- ・ **録画映像の取得方法** : 録画した画像の取得方法を指定します。
 - ◇ **カメラ経由で取得** : カメラに録画映像を取得させ表示します。
 - ◇ **全般タブのファイルサーバのパスから取得 (カメラ IP のサブフォルダは自動的に設定されます)**
: 全般タブで指定したファイルサーバのパスから録画映像を取得します。
 - ◇ **パスを直に指定して取得** : 個々にファイルサーバのパスを指定して、録画映像を取得します。

● レイアウト/表示の設定

- ・ **Instruction ファイルの指定** : マップビュー及びカーソル拡大画面の画像のヘッダーに、カメラの名前と右側にいくつかのコマンドがあります。ここでは  をクリックした時に開くファイルを設定します。すべてのファイルを選択でき、音楽から写真まで設定可能です。有効活用としては、カメラが設置されている風景を写した写真や地図、音声による案内など。
- ・ **Preferred/alarm レイアウト** : 画像のヘッダーの中の  をクリックした場合に開く、マルチ画面及びマップ画面を選択できます。
- ・ **ローカルレコーダーサイズ** : カメラの録画設定とは関係なく、PC の RAM 上にカメラのライブ画像をローカルレコーダーとして保存します。
- ・ **シーケンス時間** : 個々にシーケンス時間を設定することができます。
- ・ **表示品質** : 画像を表示する方法を設定します。
 - 遅延少なく表示** : 最小限の遅延でライブ画像を表示します。
 - スムーズに表示** : 円滑にライブ画像を表示します。

● Pan/tilt head (パン/チルト雲台の設定)

- ・ **Type** : パンチルトの雲台のタイプを指定します。
- ・ **Sensitivity** : 感度を設定します。

5. MxControlCenter のアクセス制限

Action	Guest	User	Admin
MxControlCenterの終了		●	●
スタート/ストップボタン		●	●
ライブボタン		●	●
ローカルレコーダー		●	●
選択したカメラのプレイヤーボタン		●	●
選択したカメラのカメラコントロールの使用		●	●
設定ページの表示			●
アラームリストのズームボタン		●	●
ロードとセーブボタン		●	●
カメラのステータス表示		●	●
オペレーターローター		●	●
カメラの選択	●	●	●
マイクとスピーカー		●	●
接点信号出力		●	●
ブラウザ表示		●	●
全てのコントロールを隠す/表示、カメラコントロールを隠す/表示、ソフトボタンを隠す/表示			●
左クリックの実行	●	●	●
ダブルクリックによりレンズの切り替え		●	●
右クリックの実行		●	●
レイアウト編集の表示			●
シーケンサーボタン		●	●
カメラタイトルバー"i"ボタンのファイル表示	●	●	●
カメラタイトルバー"P"の印刷	●	●	●
カメラタイトルバー"M"の参照画像の表示	●	●	●
カメラタイトルバーによるプリセット・レイアウトの表示	●	●	●
クオリティと解像度コマンドの使用		●	●
フレームレートコマンドの使用		●	●
クリックによるアラームの認識	●	●	●
現在のレイアウトをスタートレイアウトに設定			●
最後の4つアラームをプレイヤーウィンドウに表示 (se-over title bar)		●	●
終了時に現在の設定を保存(ローカルかグローバルフォルダー)			●
グローバルかローカルフォルダーに保存			●

発行元:MOBOTIX JAPAN
(有)K.J.フェロー

〒231-0006

横浜市中区南仲通 3-35

横浜エクセレントⅢ 8F

Tel: 045-227-6174

Fax: 045-227-6286

E-mail: robotix@kjfellow.com

<http://www.kjfellow.com/robotix/>

2008/03/25 第3版

